

世田谷区障害者（児）実態調査 中間報告書

平成 26 年 7 月

世田谷区

目次

第1章 調査の概要

1. 調査の目的	1
2. 調査の種類および調査対象者	1
3. 調査の設計	1
4. 調査方法	1
5. 調査期間	1
6. 回収結果	2
7. 報告書の見方	2

第2章 障害者（児）実態調査の結果

1. ご本人について	3
2. 日常生活に関することについて	13
3. 介助の状況について	14
4. 医療と健康について	25
5. 住まいや暮らし方について	31
6. 社会参加や日中活動について	34
7. その他の日中活動について	45
8. 相談や福祉の情報について	49
9. 障害福祉のサービス等の利用状況と利用意向について	57
10. 災害対策について	64
11. 障害理解について	65
12. 差別の解消や権利擁護について	66

第3章 サービス提供事業者調査の結果

1. 事業所の概要について	68
2. 事業運営の概要について	81
3. サービス提供体制について	88
4. サービスの質の向上のための取り組みについて	95
5. 今後の事業展開について	98

資料

1. 障害者（児）実態調査調査票	105
2. サービス提供事業者調査調査票	115

第 1 章 調査の概要

1．調査の目的

本調査は、平成 27 年度からの新たなノーマライゼーションプラン(障害者計画)・障害福祉計画を策定するための基礎資料を得ることを目的として実施しました。

2．調査の種類および調査対象者

調査種別	調査対象者
障害者(児)実態調査	身体障害者、知的障害者、精神障害者、発達障害者、高次脳機能障害者、難病患者
サービス提供事業者調査	区内の障害福祉サービス事業者及び障害者施設、介護保険サービスで訪問介護を提供している区内事業者及び区内施設を有する法人、区内に住所を有する障害者にサービスを提供している区外入所施設

3．調査の設計

調査種別	項目	内容
障害者(児)実態調査	ア 対象者数	3,000 人
	イ 抽出方法	無作為抽出
	ウ 調査地域	区内全域
サービス提供事業者調査	ア 対象者数	200 事業者
	イ 抽出方法	無作為抽出
	ウ 調査地域	区内の障害福祉サービス事業者及び障害者施設、介護保険サービスで訪問介護を提供している区内事業者及び区内施設を有する法人、区内に住所を有する障害者にサービスを提供している区外入所施設

4．調査方法

調査種別	発送	回収
障害者(児)実態調査	郵送	郵送
サービス提供事業者調査	郵送	郵送

5．調査期間

平成 26 年 1 月 31 日～2 月 17 日

6．回収結果

調査種別	対象者と回収率	今回調査	前回調査
障害者 (児)実態 調査	対象者	身体・知的・精神・発達・高次脳・難病	身体・知的・精神・発達・高次脳・難病
	対象者数	3,000	2,400
	回答者数	1,391	1,128
	回収率	46.4%	47.0%
サービス 提供事業者 調査	対象事業者数	200	200
	回答者数	97	103
	有効回収率	48.5%	51.5%

7．報告書の見方

集計した数値(%)は小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示しています。そのため、質問に対する回答の選択肢が1つだけの場合、選択肢の数値(%)をすべて合計しても、100.0%にならない場合があります。

回答者数を分母として割合(%)を計算しているため、複数回答の場合には、各選択肢の割合を合計すると100%を超えることがあります。

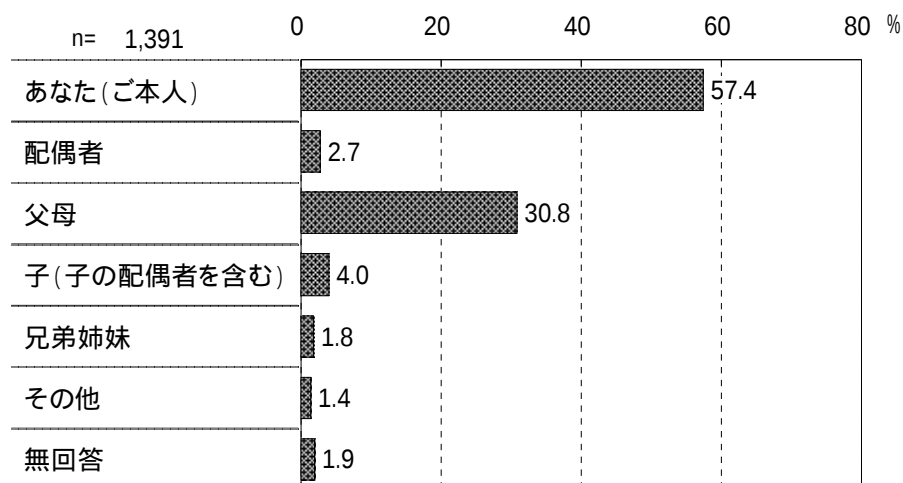
回答が少数である場合の比率については、特定の意向が強く反映される場合があることにご留意ください。

第2章 障害者（児）実態調査の結果

1. ご本人について

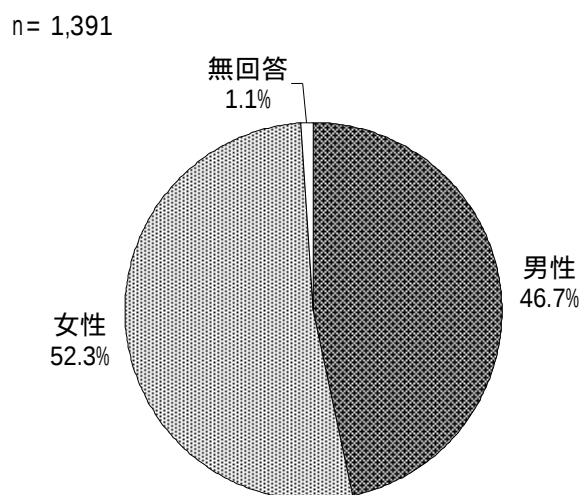
○この調査に回答した方と、ご本人との関係をうかがいます。（1つに○）

この調査の回答者については、「あなた（ご本人）」が57.4%、「父母」が30.8%などとなっています。



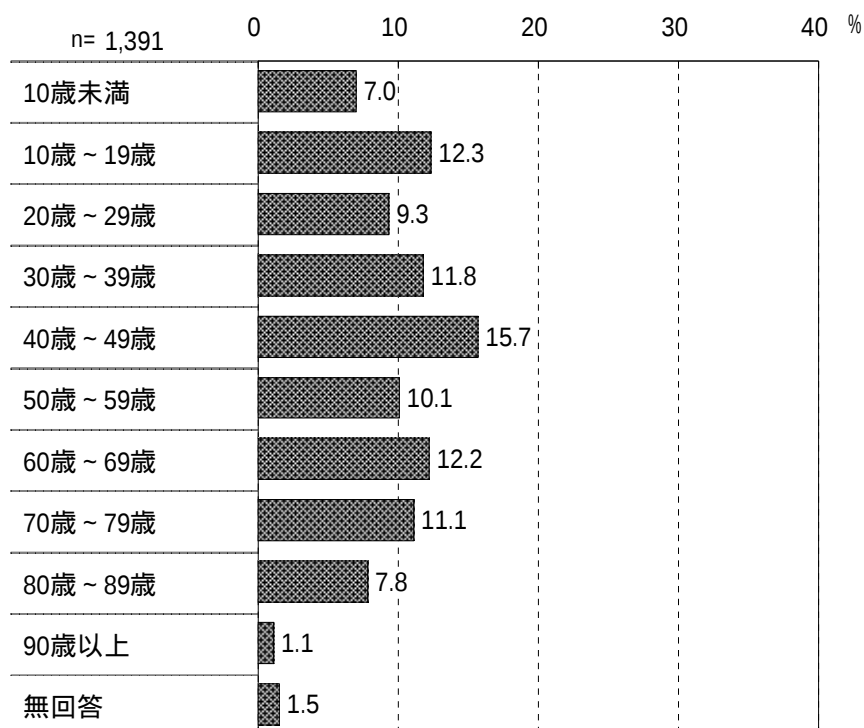
問1 あなたの性別をお答えください。（1つに○）

性別については、「男性」が46.7%、「女性」が52.3%となっています。



問2 あなたの年齢をお答えください。(数字を記入)

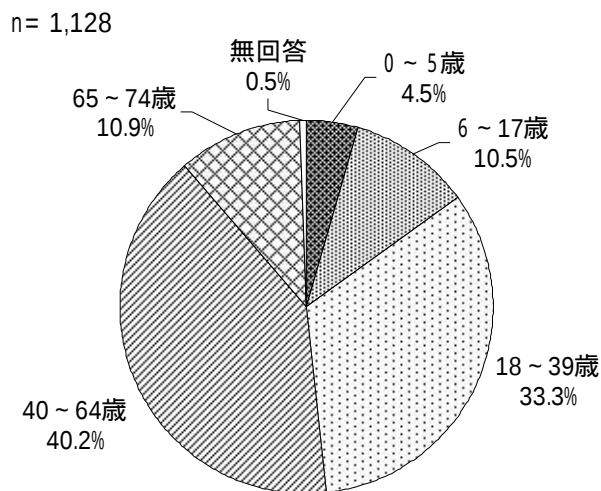
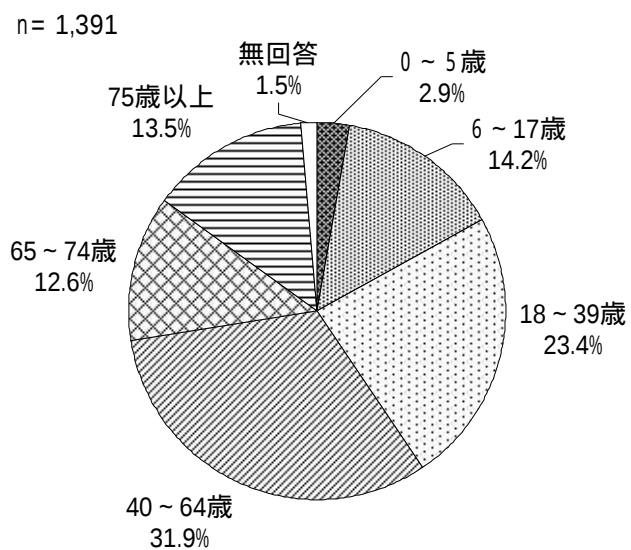
年齢については、「40～49歳」が最も多く15.7%、次いで「10～19歳」が12.3%、「60～69歳」が12.2%などとなっています。



【年齢区分別】

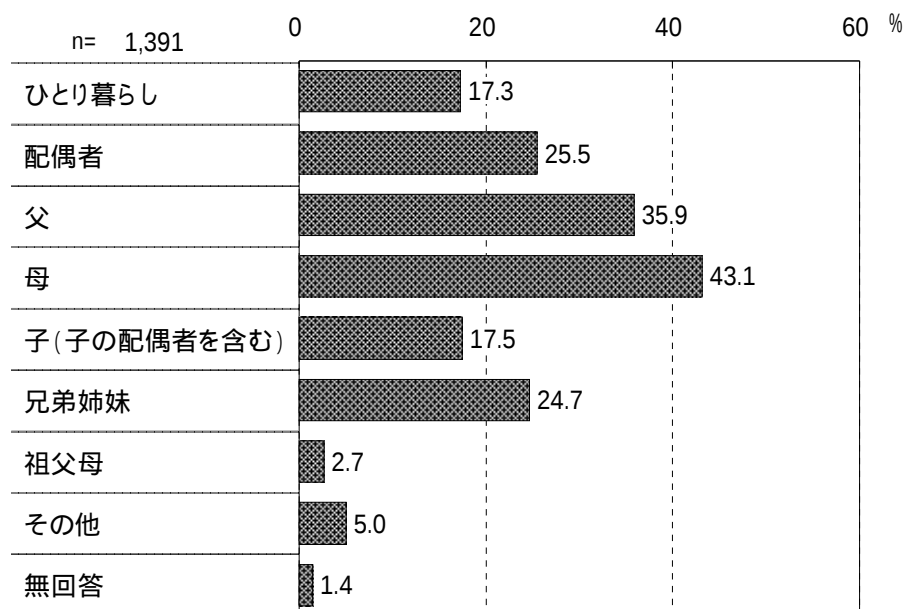
年齢区分別にみると、「0～5歳」が2.9%、「6～17歳」が14.2%、「18～39歳」が23.4%、「40～64歳」が31.9%、「65～74歳」が12.6%、「75歳以上」が13.5%となっています。

【参考：第3期世田谷区障害福祉計画障害者児実態調査】



問3 あなたは、どなたと一緒に住まいですか。(あてはまるものすべてに○)

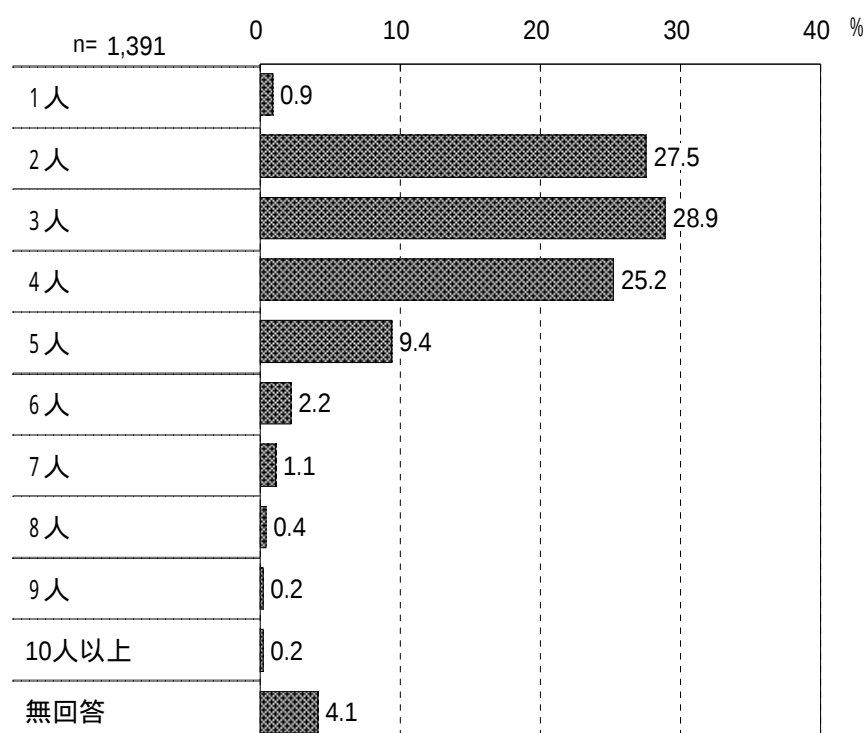
同居者については、「母」が最も多く43.1%、次いで「父」が35.9%、「配偶者」が25.5%、「兄弟姉妹」が24.7%などとなっています。また、「ひとり暮らし」は17.3%となっています。



《問3で「2」～「8」のいずれかをお答えの方におたずねします》

問3-1 あなたと同居しているご家族は、あなたを含め合計で何人ですか。(数字を記入)

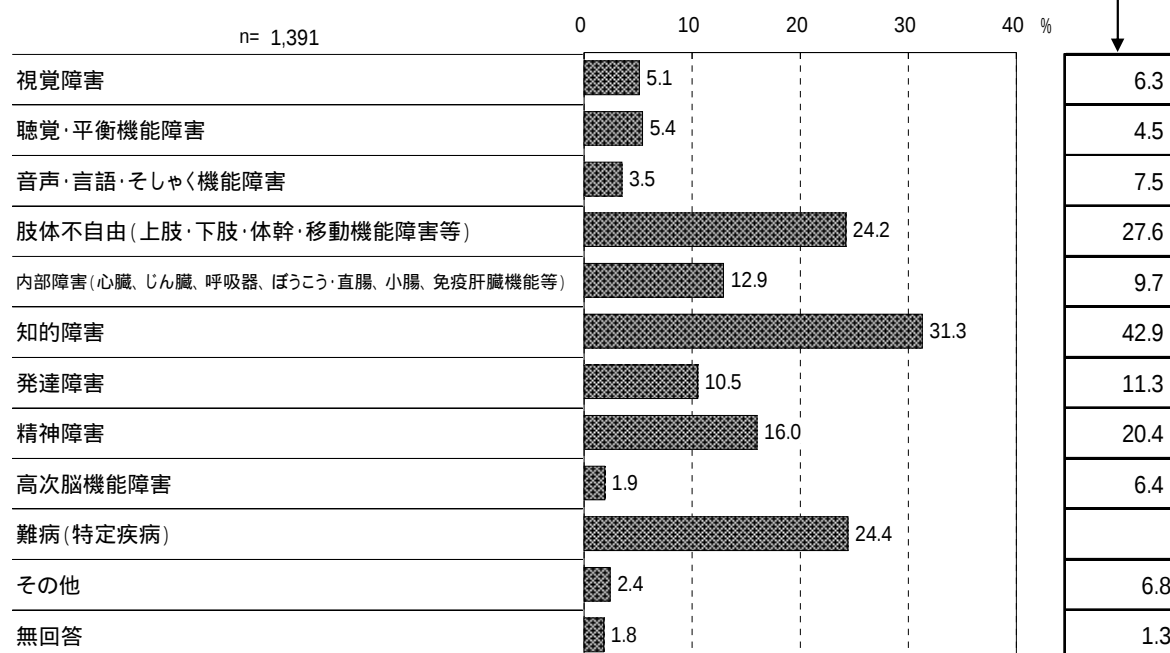
本人を含めた同居家族の人数については、「3人」が最も多く28.9%、次いで「2人」が27.5%、「4人」が25.2%などとなっています。



問4 あなたの障害は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

障害の種類については、「知的障害」が、最も多く 31.3%、次いで「難病(特定疾病)」が 24.4%、「肢体不自由(上肢・下肢・体幹・移動機能障害等)」が 24.2%などとなっています。

【参考:第3期世田谷区障害福祉計画障害者実態調査】



【年齢区分別】

年齢区分別にみると、「肢体不自由(上肢・下肢・体幹・移動機能障害等)」では、“75歳以上”で4割を超え他の年齢区分と比べて割合が高くなっています。また、「知的障害」では、“6～17歳”で7割を超え特に割合が高くなっています。「発達障害」では“0～5歳”と“6～17歳”で3割以上、「精神障害」では“40～64歳”で3割近くと他の年齢区分と比べて割合が高くなっています。

		視覚障害	聴覚・平衡機能障害	音声・言語・そしゃく機能障害	肢体不自由(上肢・下肢・体幹・移動機能障害等)	内部障害(心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう・直腸、小腸、免疫臓機能等)	知的障害	発達障害	精神障害	高次脳機能障害	難病(特定疾病)	その他	無回答
	n												
0～5歳	40	7.5	15.0	-	35.0	15.0	42.5	30.0	2.5	2.5	5.0	10.0	-
6～17歳	197	4.1	9.6	6.6	34.0	13.2	72.1	32.5	4.1	1.5	4.6	2.0	-
18～39歳	326	4.3	3.7	3.1	17.2	5.8	47.2	16.6	20.2	2.1	22.1	2.5	0.6
40～64歳	444	4.5	2.0	3.2	13.3	9.7	21.8	3.4	28.6	2.3	32.2	1.1	1.4
65～74歳	175	8.0	5.7	4.0	33.7	17.1	8.6	0.6	8.6	1.7	37.1	1.1	1.7
75歳以上	188	5.9	9.0	2.7	42.6	28.2	2.7	-	3.2	0.5	26.1	5.3	0.5

【重複障害】

障害の重複をみると、「知的障害」では“発達障害”が6割半ば、“音声・言語・そしゃく機能障害”が5割を超え割合が高くなっています。難病（特定疾病）では“内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう・直腸、小腸、免疫肝臓機能等）”が3割近くと他の障害と比べて割合が高くなっています。「肢体不自由（上肢・下肢・体幹・移動機能障害等）」では“音声・言語・そしゃく機能障害”が6割を超え割合が高くなっています。

													(%)
	n	視覚障害	聴覚・平衡機能障害	音声・言語・そしゃく機能障害	肢体不自由（上肢・下肢・体幹・移動機能障害等）	内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう・直腸、小腸、免疫肝臓機能等）	知的障害	発達障害	精神障害	高次脳機能障害	難病（特定疾病）	その他	無回答
視覚障害	71	100.0	16.9	15.5	21.1	7.0	28.2	9.9	14.1	2.8	18.3	2.8	-
聴覚・平衡機能障害	75	16.0	100.0	13.3	26.7	10.7	28.0	6.7	8.0	-	6.7	-	-
音声・言語・そしゃく機能障害	49	22.4	20.4	100.0	61.2	12.2	51.0	24.5	16.3	8.2	10.2	4.1	-
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・移動機能障害等）	337	4.5	5.9	8.9	100.0	8.6	31.2	8.9	4.7	3.0	10.7	3.3	-
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう・直腸、小腸、免疫肝臓機能等）	179	2.8	4.5	3.4	16.2	100.0	17.9	6.1	2.8	1.1	27.4	-	-
知的障害	435	4.6	4.8	5.7	24.1	7.4	100.0	21.8	6.0	0.9	2.5	1.6	-
発達障害	146	4.8	3.4	8.2	20.5	7.5	65.1	100.0	15.8	2.1	4.1	2.7	-
精神障害	223	4.5	2.7	3.6	7.2	2.2	11.7	10.3	100.0	0.9	3.1	1.3	-
高次脳機能障害	26	7.7	-	15.4	38.5	7.7	15.4	11.5	7.7	100.0	11.5	7.7	-
難病（特定疾病）	340	3.8	1.5	1.5	10.6	14.4	3.2	1.8	2.1	0.9	100.0	0.6	-
その他	33	6.1	-	6.1	33.3	-	21.2	12.1	9.1	6.1	6.1	100.0	-

【年齢区分別重複障害】

年齢区分別の重複障害の状況は下表の通りです。

(%)

		n	視覚障害	聴覚・平衡機能障害	音声・言語・そ しゃく機能障 害	肢体不自由 (上肢・下肢・ 移動機能障 害等)	腸・呼吸器・ 免疫臓器機 能等	知的障害	発達障害	精神障害	高次脳機能 障害	難病 (特定疾 病)	その他	無 回 答
視覚障害	小計	71	100.0	16.9	15.5	21.1	7.0	28.2	9.9	14.1	2.8	18.3	2.8	-
	0～5歳	3	100.0	66.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6～17歳	8	100.0	62.5	62.5	75.0	25.0	75.0	62.5	37.5	12.5	12.5	12.5	-
	18～39歳	14	100.0	14.3	14.3	35.7	7.1	57.1	14.3	21.4	7.1	14.3	7.1	-
	40～64歳	20	100.0	10.0	10.0	5.0	5.0	30.0	-	20.0	-	15.0	-	-
	65～74歳	14	100.0	7.1	14.3	14.3	-	-	-	-	-	35.7	-	-
	75歳以上	11	100.0	-	-	9.1	9.1	-	-	-	-	18.2	-	-
聴覚・平衡機能障害	小計	75	16.0	100.0	13.3	26.7	10.7	28.0	6.7	8.0	-	6.7	-	-
	0～5歳	6	33.3	100.0	-	16.7	-	16.7	-	-	-	-	-	-
	6～17歳	19	26.3	100.0	21.1	31.6	21.1	52.6	15.8	5.3	-	-	-	-
	18～39歳	12	16.7	100.0	16.7	16.7	-	33.3	8.3	8.3	-	8.3	-	-
	40～64歳	9	22.2	100.0	22.2	22.2	-	44.4	-	33.3	-	-	-	-
	65～74歳	10	10.0	100.0	-	30.0	10.0	10.0	10.0	10.0	-	20.0	-	-
	75歳以上	17	-	100.0	11.8	29.4	11.8	-	-	-	-	11.8	-	-
音声・言語・そ しゃく機能障 害	小計	49	22.4	20.4	100.0	61.2	12.2	51.0	24.5	16.3	8.2	10.2	4.1	-
	0～5歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6～17歳	13	38.5	30.8	100.0	76.9	23.1	76.9	53.8	23.1	7.7	7.7	7.7	-
	18～39歳	10	20.0	20.0	100.0	90.0	20.0	70.0	30.0	10.0	20.0	-	10.0	-
	40～64歳	14	14.3	14.3	100.0	35.7	7.1	50.0	14.3	28.6	-	7.1	-	-
	65～74歳	7	28.6	-	100.0	57.1	-	14.3	-	-	14.3	42.9	-	-
	75歳以上	5	-	40.0	100.0	40.0	-	-	-	-	-	-	-	-
肢体不自由 (上肢・下肢・ 移動機能障 害等)	小計	337	4.5	5.9	8.9	100.0	8.6	31.2	8.9	4.7	3.0	10.7	3.3	-
	0～5歳	14	-	7.1	-	100.0	14.3	42.9	28.6	7.1	7.1	7.1	-	-
	6～17歳	67	9.0	9.0	14.9	100.0	9.0	56.7	23.9	7.5	1.5	9.0	3.0	-
	18～39歳	56	8.9	3.6	16.1	100.0	8.9	75.0	14.3	3.6	5.4	8.9	3.6	-
	40～64歳	59	1.7	3.4	8.5	100.0	5.1	18.6	1.7	6.8	1.7	13.6	-	-
	65～74歳	59	3.4	5.1	6.8	100.0	5.1	8.5	1.7	6.8	3.4	10.2	3.4	-
	75歳以上	80	1.3	6.3	2.5	100.0	11.3	1.3	-	-	1.3	12.5	6.3	-
内部障害(心 臓、じん臓、 呼吸器、ぼう こう・直腸、小 腸、免疫臓器 機能等)	小計	179	2.8	4.5	3.4	16.2	100.0	17.9	6.1	2.8	1.1	27.4	-	-
	0～5歳	6	-	-	-	33.3	100.0	33.3	33.3	-	-	16.7	-	-
	6～17歳	26	7.7	15.4	11.5	23.1	100.0	46.2	23.1	3.8	3.8	7.7	-	-
	18～39歳	19	5.3	-	10.5	26.3	100.0	63.2	15.8	5.3	-	31.6	-	-
	40～64歳	43	2.3	-	2.3	7.0	100.0	11.6	-	4.7	2.3	34.9	-	-
	65～74歳	30	-	3.3	-	10.0	100.0	-	-	-	-	36.7	-	-
	75歳以上	53	1.9	3.8	-	17.0	100.0	-	-	1.9	-	26.4	-	-
知的障害	小計	435	4.6	4.8	5.7	24.1	7.4	100.0	21.8	6.0	0.9	2.5	1.6	-
	0～5歳	17	-	5.9	-	35.3	11.8	100.0	41.2	-	-	-	5.9	-
	6～17歳	142	4.2	7.0	7.0	26.8	8.5	100.0	38.7	4.9	0.7	2.8	1.4	-
	18～39歳	154	5.2	2.6	4.5	27.3	7.8	100.0	17.5	4.5	1.3	3.2	1.9	-
	40～64歳	97	6.2	4.1	7.2	11.3	5.2	100.0	5.2	11.3	-	1.0	-	-
	65～74歳	15	-	6.7	6.7	33.3	-	100.0	6.7	6.7	-	6.7	-	-
	75歳以上	5	-	-	-	20.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-
発達障害	小計	146	4.8	3.4	8.2	20.5	7.5	65.1	100.0	15.8	2.1	4.1	2.7	-
	0～5歳	12	-	-	-	33.3	16.7	58.3	100.0	8.3	-	8.3	-	-
	6～17歳	64	7.8	4.7	10.9	25.0	9.4	85.9	100.0	12.5	1.6	6.3	3.1	-
	18～39歳	54	3.7	1.9	5.6	14.8	5.6	50.0	100.0	13.0	3.7	1.9	1.9	-
	40～64歳	15	-	-	13.3	6.7	-	33.3	100.0	46.7	-	-	-	-
	65～74歳	1	-	100.0	-	100.0	-	100.0	100.0	-	-	-	-	-
	75歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
精神障害	小計	223	4.5	2.7	3.6	7.2	2.2	11.7	10.3	100.0	0.9	3.1	1.3	-
	0～5歳	1	-	-	-	100.0	-	-	100.0	100.0	-	100.0	-	-
	6～17歳	8	37.5	12.5	37.5	62.5	12.5	87.5	100.0	100.0	12.5	12.5	12.5	-
	18～39歳	66	4.5	1.5	1.5	3.0	1.5	10.6	10.6	100.0	1.5	3.0	1.5	-
	40～64歳	127	3.1	2.4	3.1	3.1	1.6	8.7	5.5	100.0	-	2.4	0.8	-
	65～74歳	15	-	6.7	-	26.7	-	6.7	-	100.0	-	-	-	-
	75歳以上	6	-	-	-	-	16.7	-	-	100.0	-	-	-	-
高次脳機能 障害	小計	26	7.7	-	15.4	38.5	7.7	15.4	11.5	7.7	100.0	11.5	7.7	-
	0～5歳	1	-	-	-	100.0	-	-	-	-	100.0	-	-	-
	6～17歳	3	33.3	-	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	100.0	33.3	33.3	-
	18～39歳	7	14.3	-	28.6	42.9	-	28.6	28.6	14.3	100.0	-	14.3	-
	40～64歳	10	-	-	-	10.0	10.0	-	-	-	100.0	10.0	-	-
	65～74歳	3	-	-	33.3	66.7	-	-	-	-	100.0	33.3	-	-
	75歳以上	1	-	-	-	100.0	-	-	-	-	100.0	-	-	-
難病(特定疾 病)	小計	340	3.8	1.5	1.5	10.6	14.4	3.2	1.8	2.1	0.9	100.0	0.6	-
	0～5歳	2	-	-	-	50.0	50.0	-	50.0	50.0	-	100.0	-	-
	6～17歳	9	11.1	-	11.1	66.7	22.2	44.4	44.4	11.1	11.1	100.0	-	-
	18～39歳	72	2.8	1.4	-	6.9	8.3	6.9	1.4	2.8	-	100.0	1.4	-
	40～64歳	143	2.1	-	0.7	5.6	10.5	0.7	-	2.1	0.7	100.0	-	-
	65～74歳	65	7.7	3.1	4.6	9.2	16.9	1.5	-	-	1.5	100.0	-	-
	75歳以上	49	4.1	4.1	-	20.4	28.6	-	-	-	-	100.0	2.0	-
その他	小計	33	6.1	-	6.1	33.3	-	21.2	12.1	9.1	6.1	6.1	100.0	-
	0～5歳	4	-	-	-	-	-	25.0	25.0	-	-	-	100.0	-
	6～17歳	4	25.0	-	25.0	50.0	-	50.0	50.0	25.0	25.0	-	100.0	-
	18～39歳	8	12.5	-	12.5	25.0	-	37.5	12.5	12.5	12.5	12.5	100.0	-
	40～64歳	5	-	-	-	-	-	-	-	20.0	-	-	100.0	-
	65～74歳	2	-	-	-	100.0	-	50.0	-	-	-	-	100.0	-
	75歳以上	10	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-	10.0	100.0	-

問5 あなたが、現在お持ちの手帳の等級は何級または何度ですか。(あてはまるものすべてに○)

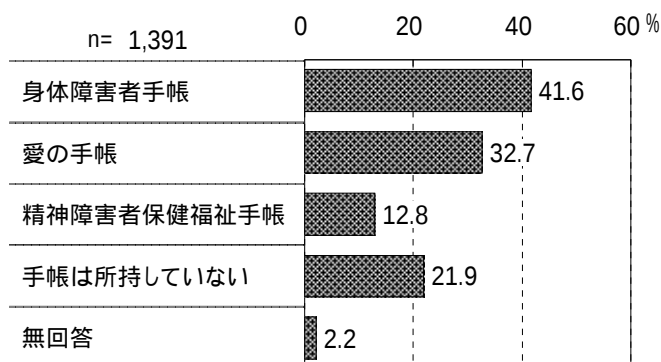
所持している手帳の種類については、「身体障害者手帳」が最も多く41.6%、次いで「愛の手帳」が32.7%、「精神障害者保健福祉手帳」が12.8%となっています。

身体障害者手帳の等級については「1級」と「2級」を合わせた『重度障害者』が56.9%と過半数を占め、「3級」と「4級」を合わせた『中等度障害者』が33.6%、「5級」と「6級」を合わせた『軽度障害者』が8.5%となっています。

愛の手帳の等級については、「1度」が5.3%、「2度」が37.4%、「3度」が26.8%、「4度」が29.7%となっています。

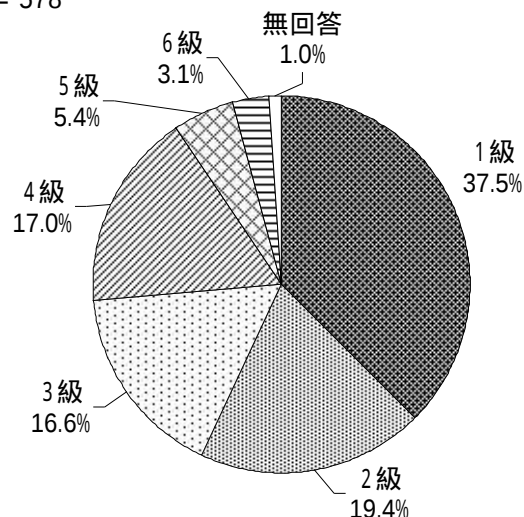
精神障害者保健福祉手帳の等級については、「1級」が5.1%、「2級」が68.5%、「3級」が25.3%となっています。

【所持している手帳】



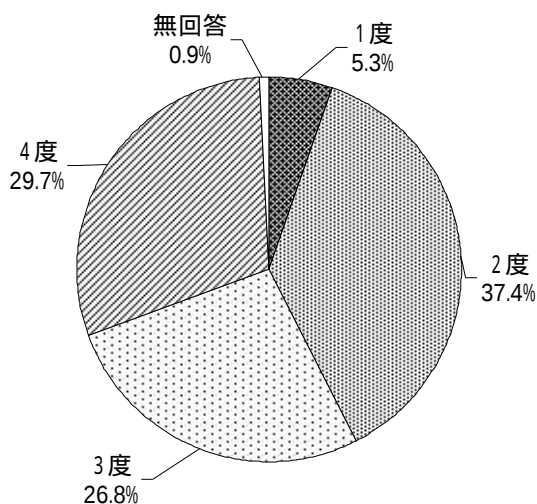
【身体障害者手帳の等級】

n = 578



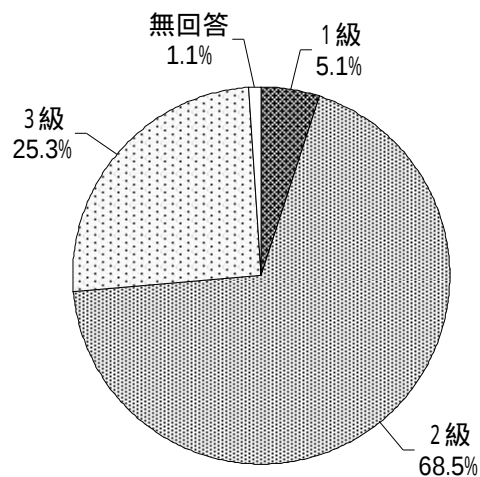
【愛の手帳の等級】

n = 455



【精神障害者保健福祉手帳の等級】

n = 178



《問4で「10」とお答えの方におたずねします》

問6 あなたの難病（特定疾病）は何ですか。

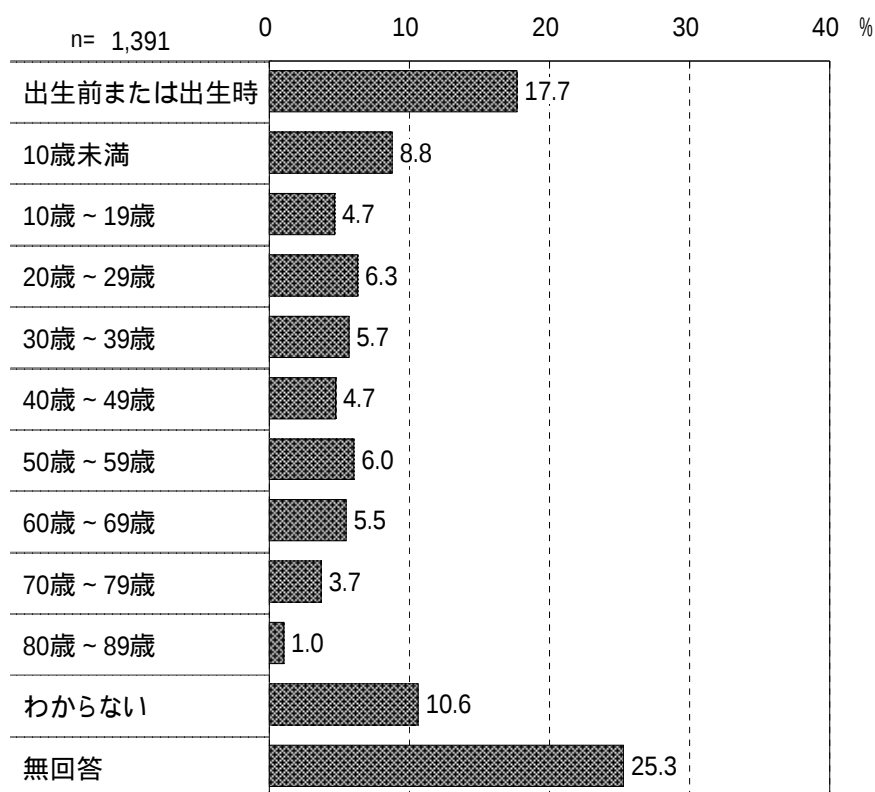
難病の種類については、「潰瘍性大腸炎」が最も多く17.6%、次いで「全身性エリテマトーデス」が8.8%などとなっています。

選択肢	割合
01 ベーチェット病	1.8
02 多発性硬化症	2.9
03 重症筋無力症	4.4
04 全身性エリテマトーデス	8.8
05 スモン	0.0
06 再生不良貧血	0.6
07 サルコイドーシス	1.8
08 筋萎縮性側索硬化症	0.6
09 筋皮症	3.8
093 皮膚筋炎・多発性筋炎	2.9
10 特発性血小板減少性紫斑病	2.6
11 結節性動脈周囲炎 結節性多発動脈炎 顕微鏡的多発血管炎	0.0
12 潰瘍性大腸炎	17.6
13 高安病(大動脈炎症候群)	1.2
14 ビュルガー病	0.3
15 天疱瘡	0.6
16 脊髄小脳変性症	0.9
17 クローン病	3.5
18 劇症肝炎	0.0
19 悪性関節リウマチ	2.4
20 パーキンソン病関連疾患 進行性核上性麻痺 大脳皮質基底核変性症 パーキンソン病	3.8
21 アミロイドーシス(原発性アミロイド症)	0.0
22 後縦靱帯骨化症	1.5
23 ハンチントン病	0.3
24 モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	1.2
25 ウェゲナー肉芽腫症	0.3
26 特発性拡張型(うっ血型)心筋症	1.5
27 多系統萎縮症 線上体黒質変性症 オリーブ橋小脳萎縮症	0.3
28 表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	0.3
29 膿疱性乾癬	0.0
30 広範脊柱管狭窄症	0.6
31 原発性胆汁性肝硬変	1.8
32 重症急性膵炎	0.3
33 特発性大腿骨頭壊死症	0.9
34 混合性結合組織病	1.5
35 原発性免疫不全症候群	0.0
36 特発性間質性肺炎	0.6
37 網膜色素変性症	1.2
38 プリオン病	0.3
39 肺動脈性肺高血圧症	0.0
40 神経線維腫症(Ⅰ型/Ⅱ型)	0.6
41 亜急性硬化性全脳炎	0.0

選択肢	割合
42 バッド・キアリ症候群	0.0
43 慢性血栓性肺高血圧症	0.3
44 ライツゾーム病(ファブリー病含む)	0.3
45 副腎白質ジストロフィー	0.0
46 家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0.6
47 脊髄性筋萎縮症	0.0
48 球脊髄性筋萎縮症	0.0
49 慢性炎症性脱髄性多発神経炎	0.0
50 肥大型心筋症	0.6
51 拘束型心筋症	0.0
52 ミトコンドリア病	0.0
53 リンパ脈管腫症(LAM)	0.3
54 重症多形滲出性紅斑(急性期)	0.0
55 黄色靱帯骨化症	0.6
56 間脳下垂体機能障害 PRL分泌異常症 ギナトトロピン分泌異常症 ADH分泌異常症 下垂体性TSH分泌異常症 クッシング病 先端巨大症 下垂体機能低下症	2.1
74 進行性筋ジストロフィー	0.3
76 ウィルソン病	0.6
765 脊髄空洞症	0.3
77 悪性高血圧	0.0
78 人工透析を必要とする腎不全	6.8
80 骨髄繊維症	0.0
81 ネフローゼ症候群	0.9
83 母斑症	0.6
84 シェーグレン症候群	3.2
85 多発性?胞腎	0.3
86 特発性門脈圧亢進症	0.6
863 原発性硬化性胆管炎	0.0
866 肝内結石症	0.0
87 ミオトニー症候群	0.3
88 特発性好酸球増多症候群	0.3
883 アレルギー性肉芽腫性血管炎	0.6
89 強直性脊椎炎	0.9
91 びまん性汎細気管支炎	0.3
94 遺伝性(本態性)ニューロパチー	0.6
95 遺伝性QT延長症候群	0.0
96 先天性ミオパチー	0.3
961 成人スティル病	0.3
97 網膜脈絡膜萎縮症	0.0
98 自己免疫性肝炎	2.1
99 先天性血液凝固因子欠乏症等	0.6
無回答	4.4
回答者数	340

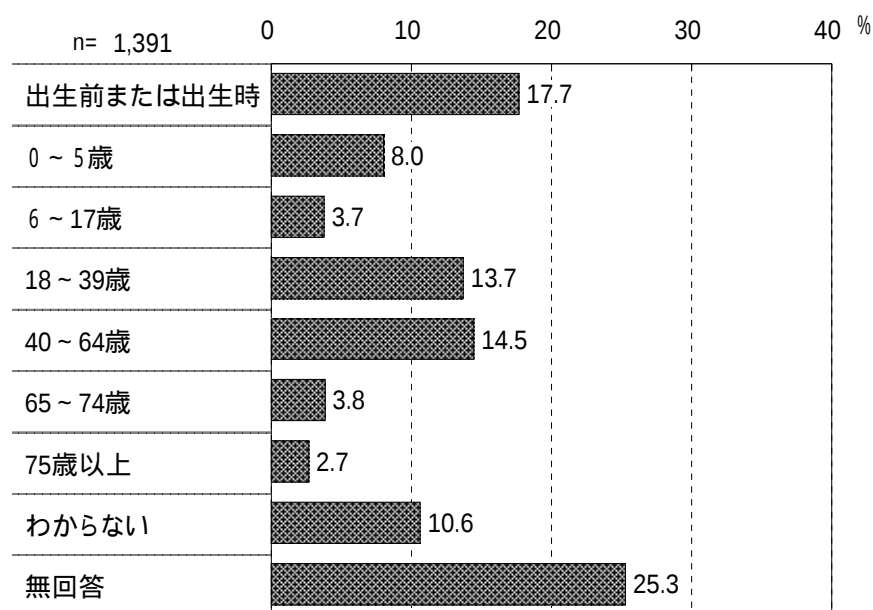
問7 主な障害が発生したのは、あなたが何歳のときですか。(1つに○)

主な障害が発生した時期については、「出生前または出生時」が17.7%、「10歳未満」が8.8%などとなっています。



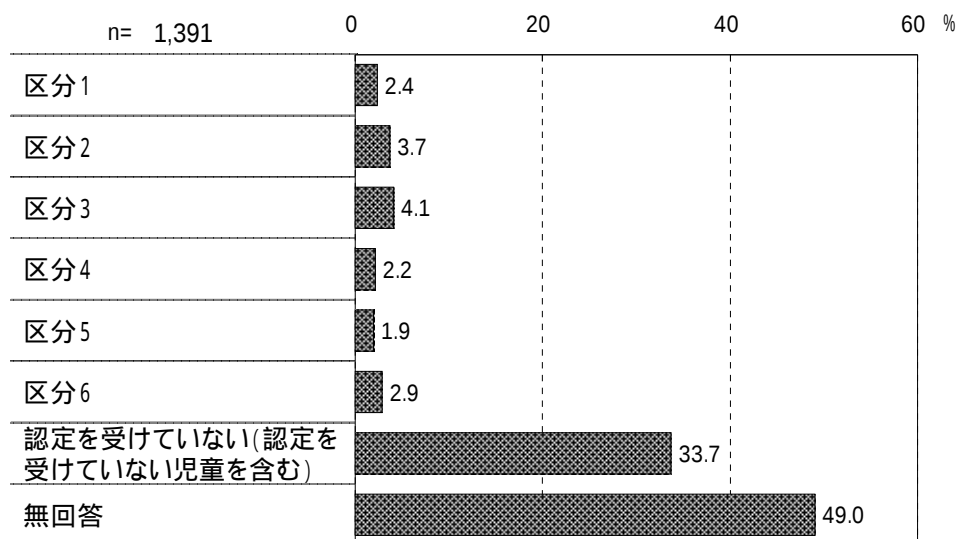
【年齢区分別】

年齢区分別にみると、「出生前または出生時」が17.7%、「40～64歳」が14.5%、「18～39歳」が13.7%などとなっています。



問8 あなたの障害者総合支援法での障害程度区分は次のどれですか。(1つに○)

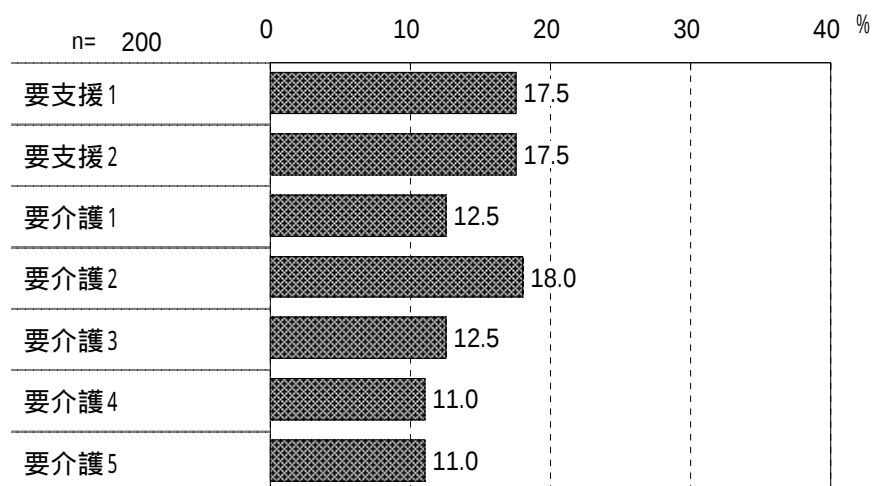
障害者総合支援法での障害程度区分については、「認定を受けていない」が33.7%となっています。



《介護保険を受けている方におたずねします》

問9 あなたの介護保険制度の要介護度は次のどれですか。(1つに○)

要介護度については、200人の回答が得られ、「要介護2」が最も多く18.0%、次いで「要支援1」と「要支援2」がともに17.5%となっています。

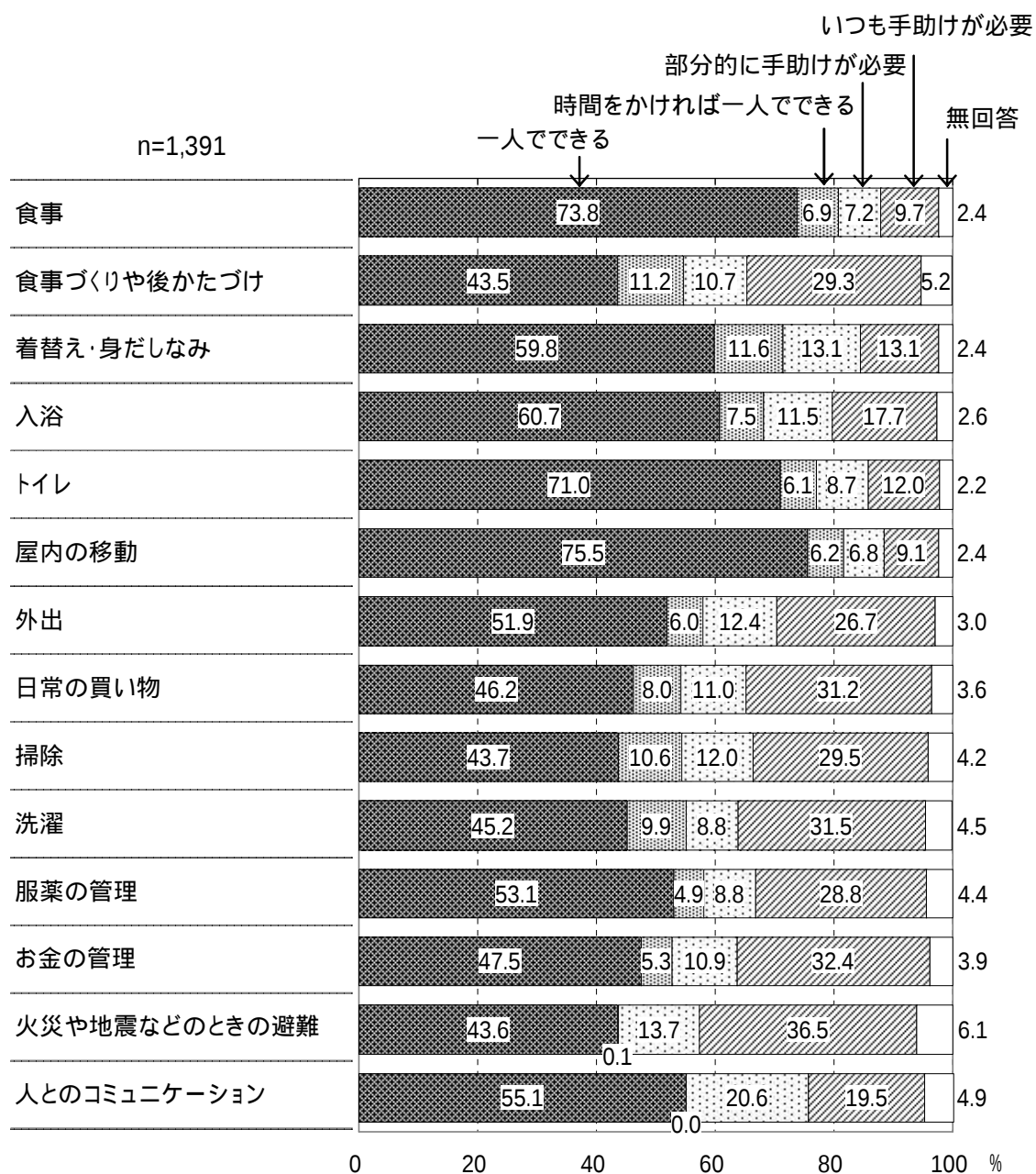


2．日常生活に関することについて

問 10 あなたは、次の項目について一人ですることができますか。（それぞれ1つに○）

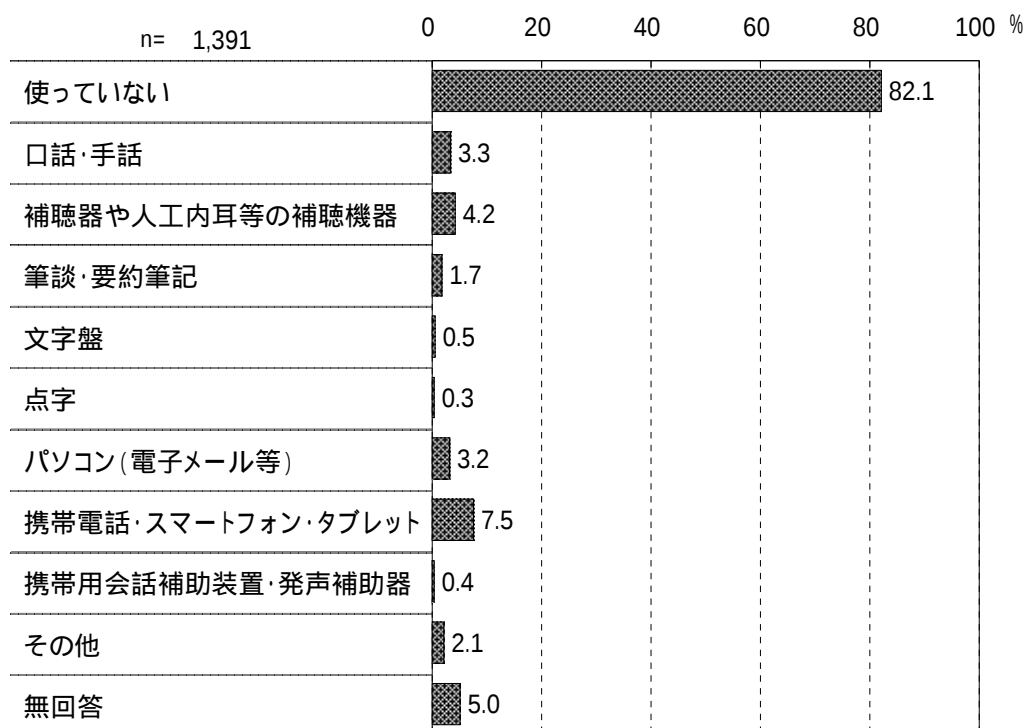
補装具や特別な技術、用具等を使用してできる場合も、「できる」とします。

日常生活に関することを一人でできるかについては、“食事”“トイレ”“屋内の移動”で「一人でできる」が7割を超え、“着替え・身だしなみ”と“入浴”で6割前後、“外出”“服薬の管理”“人とのコミュニケーション”で5割を超えています。一方、“日常の買物”“洗濯”“お金の管理”“火災や地震などのときの避難”で「いつも手助けが必要」が3割を超えています。



問 11 あなたは、意思の伝達をはかる場合、特別な技術や用具を使っていますか。(あてはまるものすべてに○)

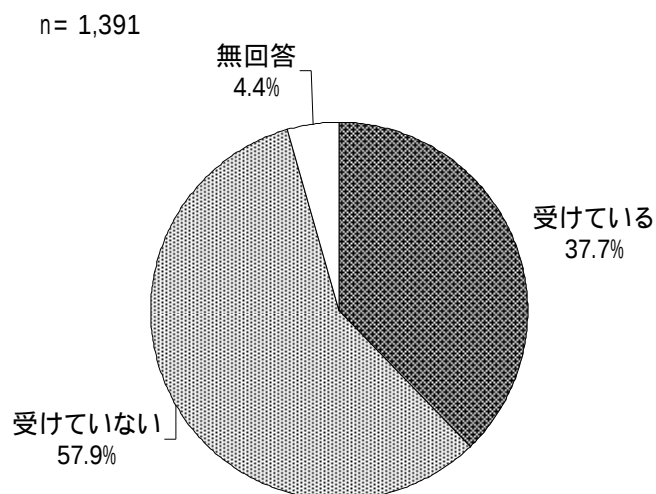
意思の伝達をはかる場合、特別な技術や用具を使っているかについては、「携帯電話・スマートフォン・タブレット」が7.5%などとなっています。また、「使っていない」が82.1%となっています。



3．介助の状況について

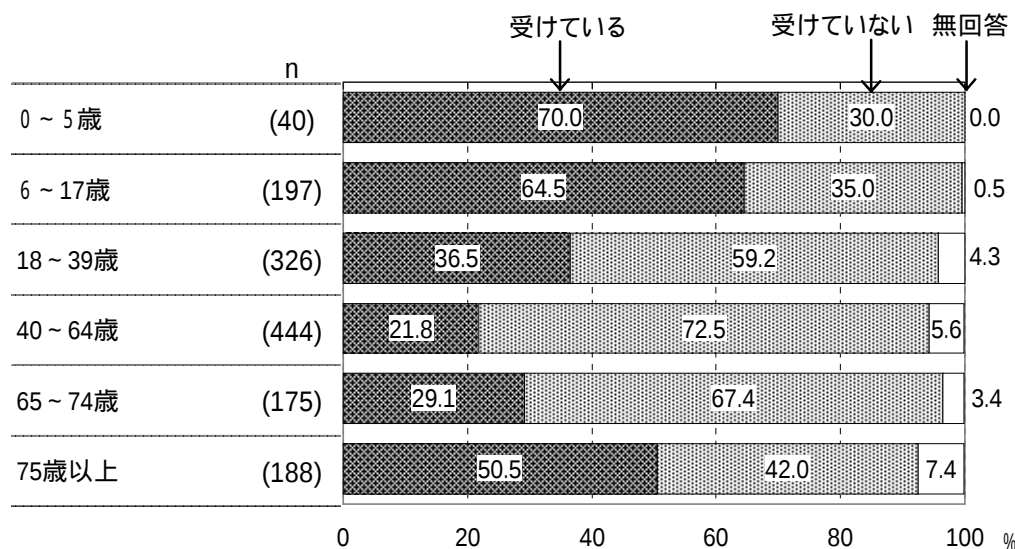
問 12 あなたは、何らかの介助を受けていますか。(1つに○)

介助を受けているかについては、「受けている」が37.7%、「受けていない」が57.9%となっています。



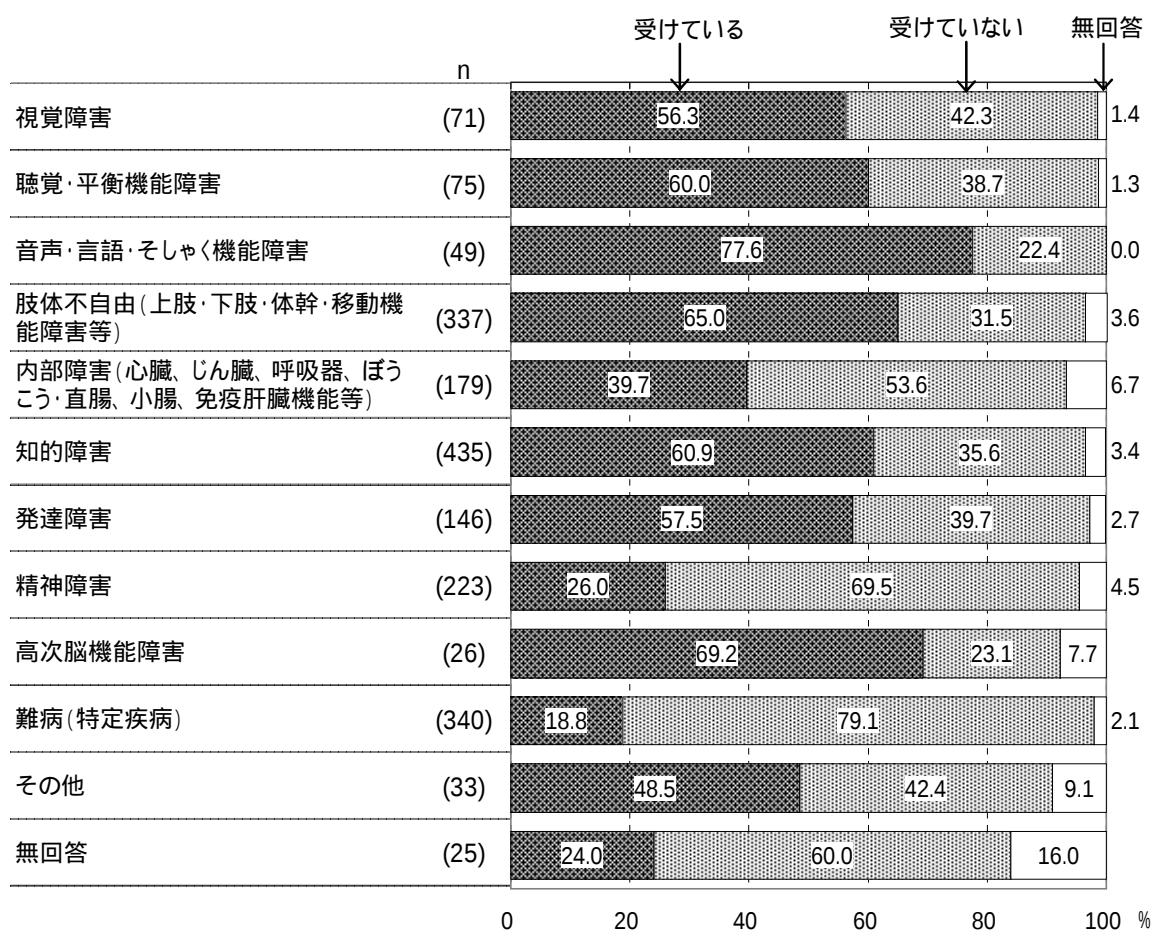
【年齢区分別】

年齢区分別にみると、「受けている」では、“0～5歳”で7割、“6～17歳”で6割半ばと他の年齢区分と比べて割合が高くなっています。一方、「受けていない」では、“40～64歳”と“65～74歳”で7割前後と他の年齢区分と比べて割合が高くなっています。



【障害種別】

障害種別にみると、「受けている」では“音声・言語・そしゃく機能障害”で8割近く、“高次脳機能障害”で7割近くと割合が高くなっています。一方、「受けていない」では“難病（特定疾病）”で8割近く、“精神障害”で7割近くと割合が高くなっています。

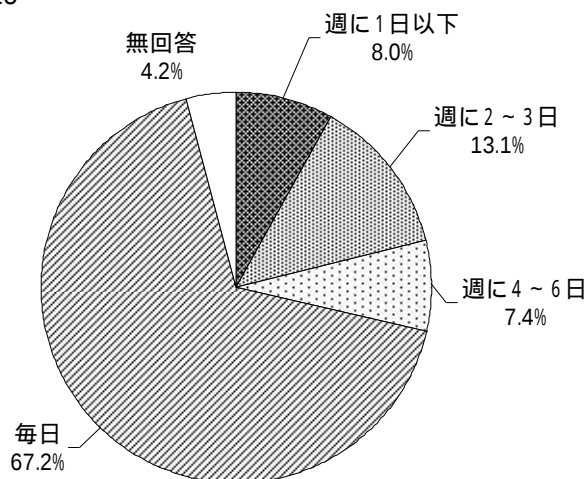


《問 12 で「 1 . 受けている」とお答えの方におたずねします》

問 12- 1 介助が必要なのは、1 週間のうち何日ぐらいですか。(1 つに○)

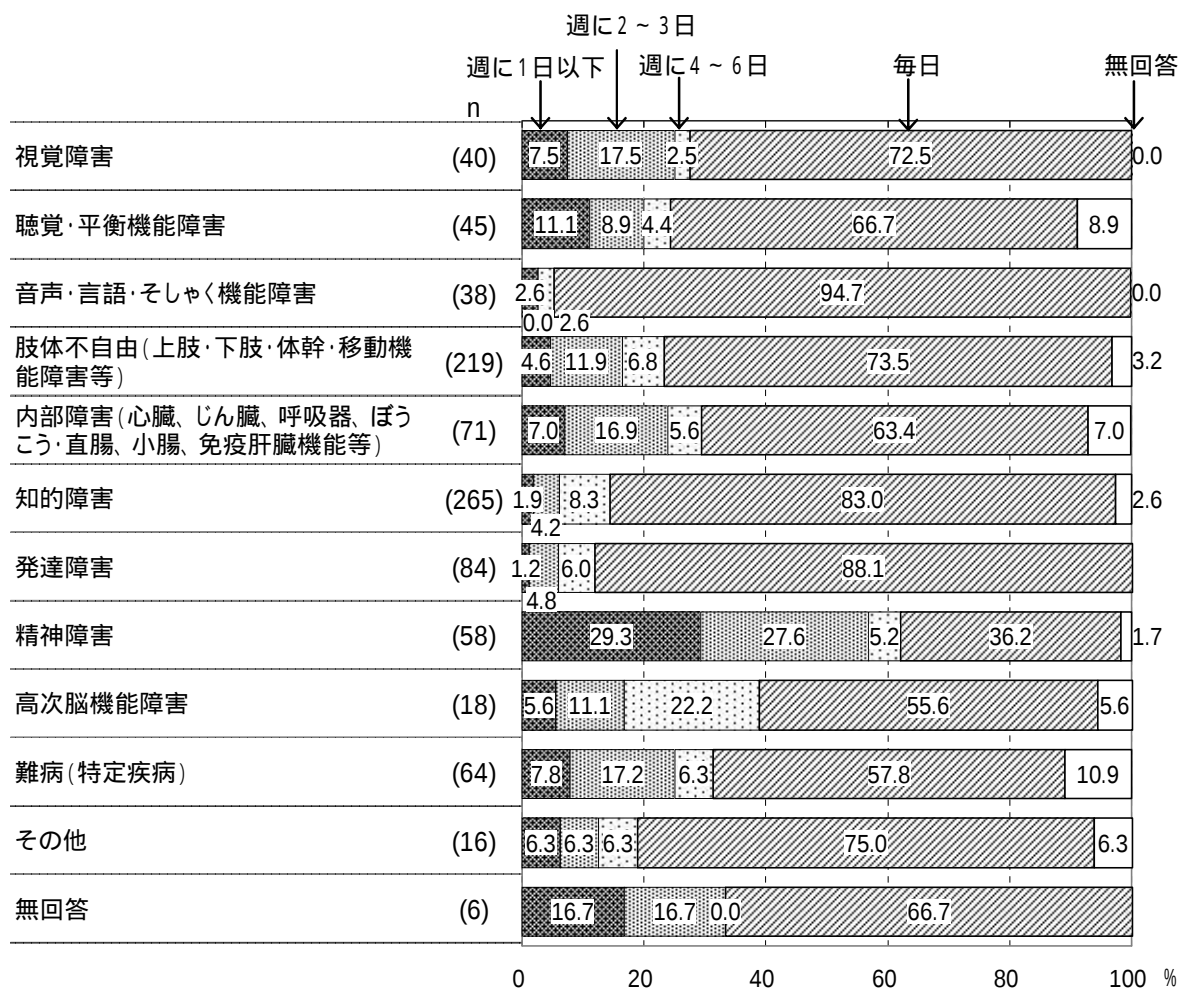
介助が必要な日数については、「週に 1 日以下」が 8.0%、「週に 2 ～ 3 日」が 13.1%、「週に 4 ～ 6 日」が 7.4%、「毎日」が 67.2%となっています。

n = 525



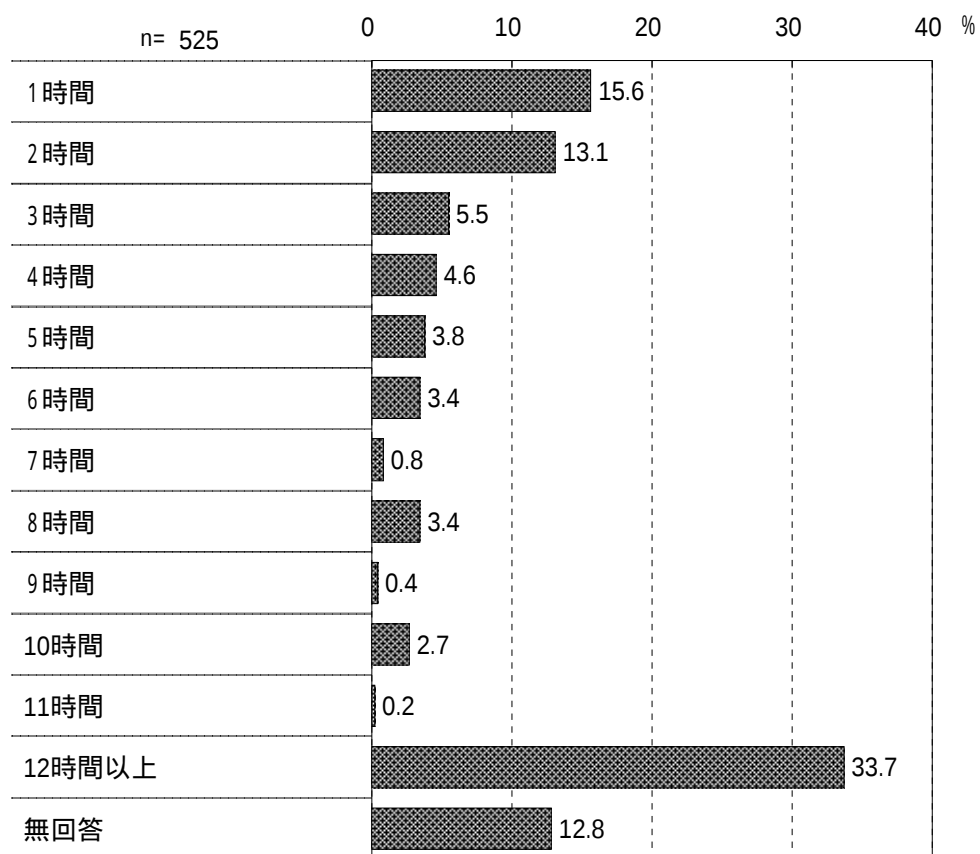
【障害種別】

障害種別にみると、「毎日」では“音声・言語・そしゃく機能障害”で 9 割半ば、“発達障害”で 9 割近く、“知的障害”で 8 割を超え割合が高くなっています。また、「週に 1 日以下」では“精神障害”で 3 割近くと他の障害と比べて割合が高くなっています。



問 12- 2 あなたが介助を受けている時間は、平均すると 1 日何時間くらいですか。(数字を記入)

介助を受けている 1 日の平均時間については、「 12 時間以上」が最も多く 33.7%、次いで「 1 時間」が 15.6%、「 2 時間」が 13.1%などとなっています。

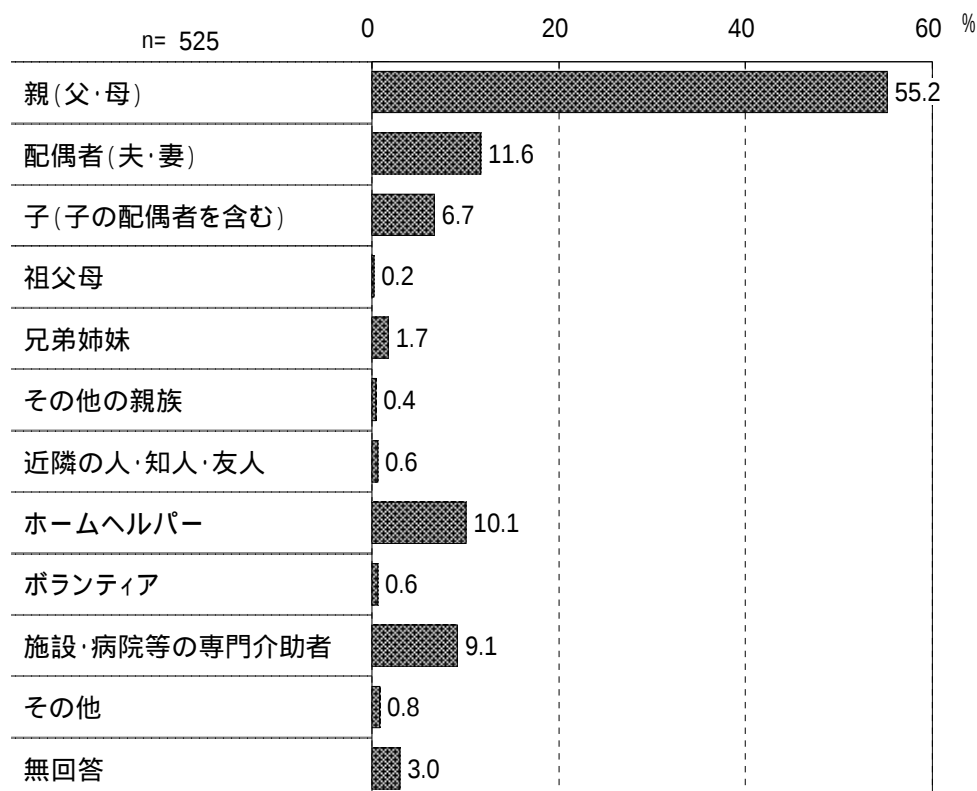


問 13 あなたを主に介助しているのはどなたですか。(1 つに ○)

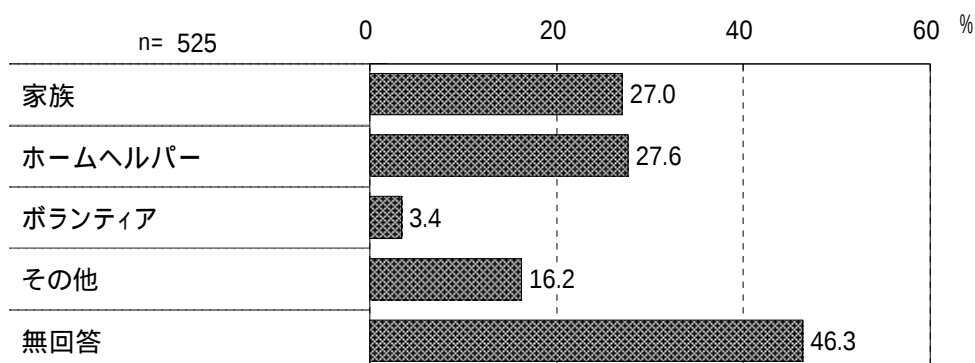
また、その他に介助しているのはどなたですか。(あてはまるものすべてに ○)

主な介助者については、「親(父・母)」が最も多く 55.2%、次いで「配偶者(夫・妻)」が 11.6%、「ホームヘルパー」が 10.1%などとなっています。また、主な介助者以外の介助者については、「ホームヘルパー」が 27.6%、「家族」が 27.0%などとなっています。

【主な介助者】



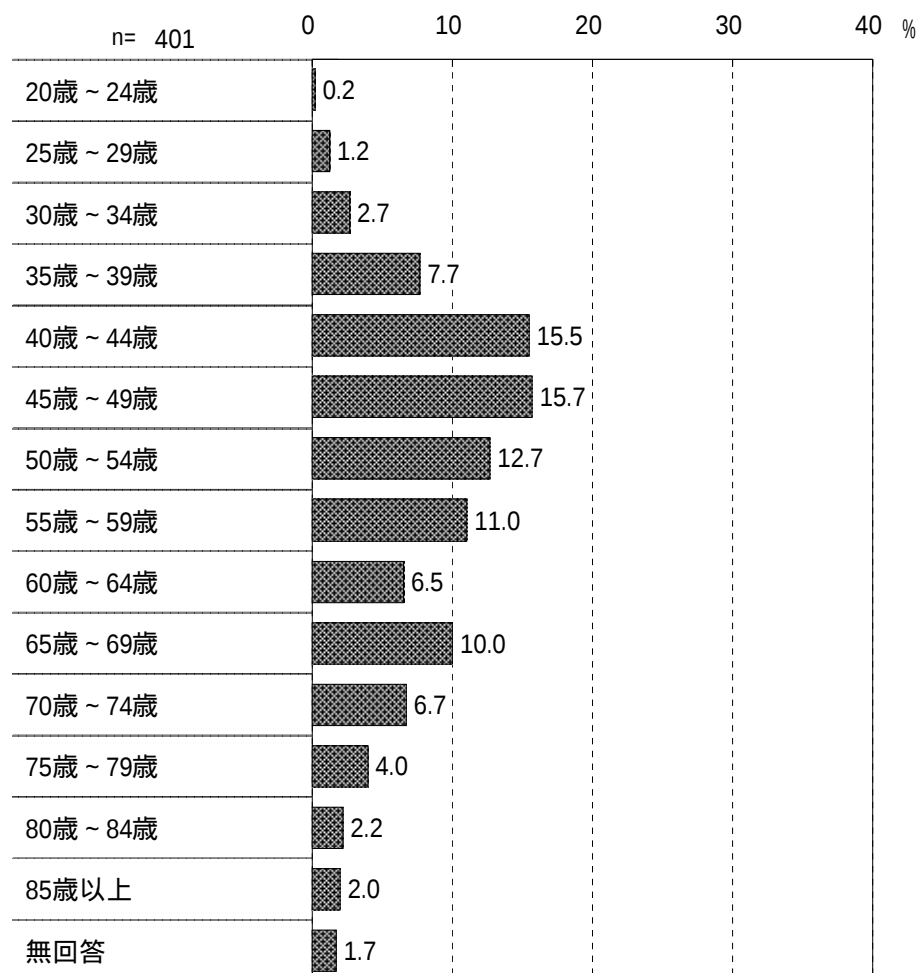
【主な介助者以外の介助者】



《問 13 のア . 主な介助者で「 1 」～「 7 」とお答えの方におたずねします》

問 13- 1 主な介助者の方の年齢を記入してください。(数字を記入)

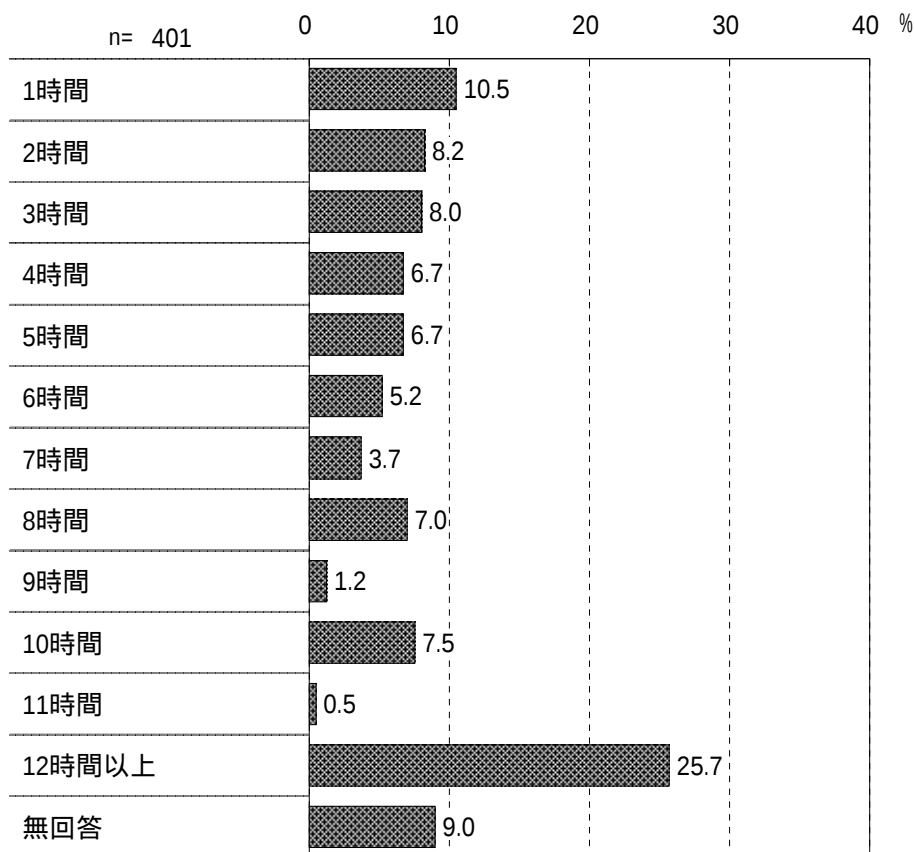
主な介助者の年齢については、「 45 歳～ 49 歳」が最も多く 15.7 %、次いで「 40 歳～ 44 歳」が 15.5 %、「 50 ～ 54 歳」が 12.7 %などとなっています。



《問 13 のア . 主な介助者で「 1 」～「 7 」とお答えの方におたずねします》

問 13- 2 主な介助者の方が介助している 1 日の平均的な介助時間を記入してください。
(数字を記入)

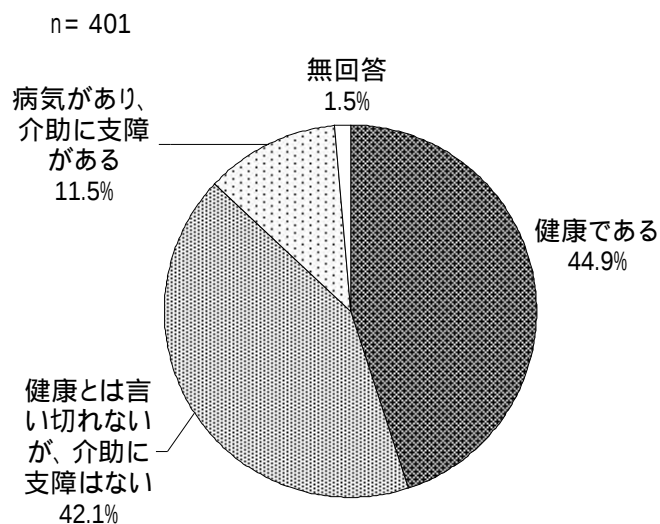
主な介助者が介助している 1 日の平均的な介助時間については、「 12 時間以上」が最も多く 25.7%、次いで「 1 時間」が 10.5%などとなっています。



《問 13 のア . 主な介助者で「 1 」～「 7 」とお答えの方におたずねします》

問 13- 3 主な介助者の方の健康状態はいかがですか。(1 つに ○)

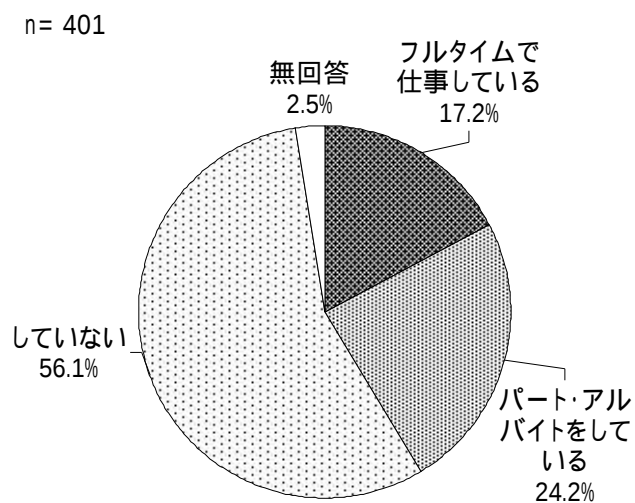
主な介助者の健康状態については、「健康である」が 44.9%、「健康とはいき切れないが、介助に支障はない」が 42.1%、「病気があり、介助に支障がある」が 11.5%となっています。



《問 13 のア . 主な介助者で「 1 」～「 7 」とお答えの方におたずねします》

問 13- 4 主な介助者の方は仕事をしていますか。(1 つに○)

主な介助者の仕事については、「フルタイムで仕事している」が 17.2 %、「パート・アルバイトをしている」が 24.2 %、「していない」が 56.1 %となっています。

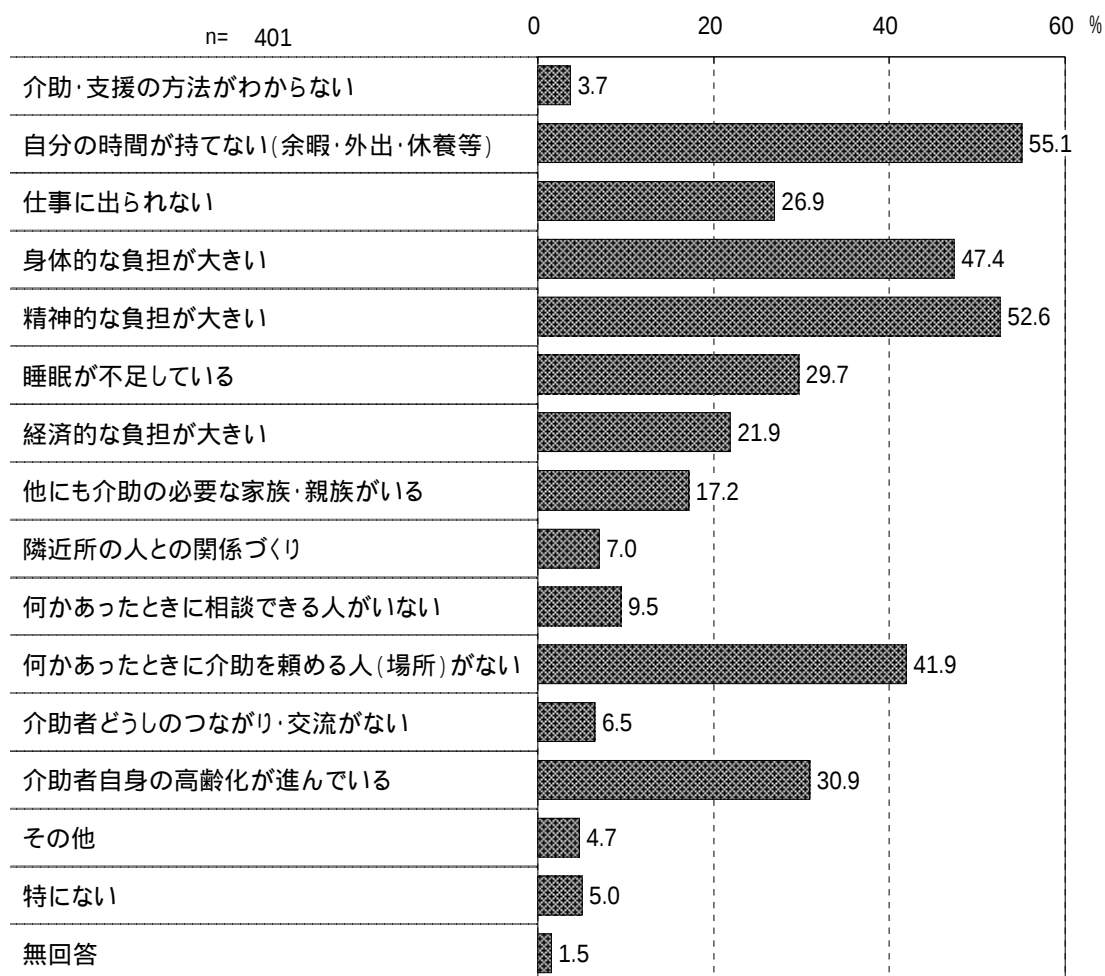


《問 13 のア . 主な介助者で「 1 」～「 7 」とお答えの方におたずねします》

問 13- 5 主な介助者の方は、介助にあたってどのような不安や悩みを抱えていますか。

(5 つまで。)

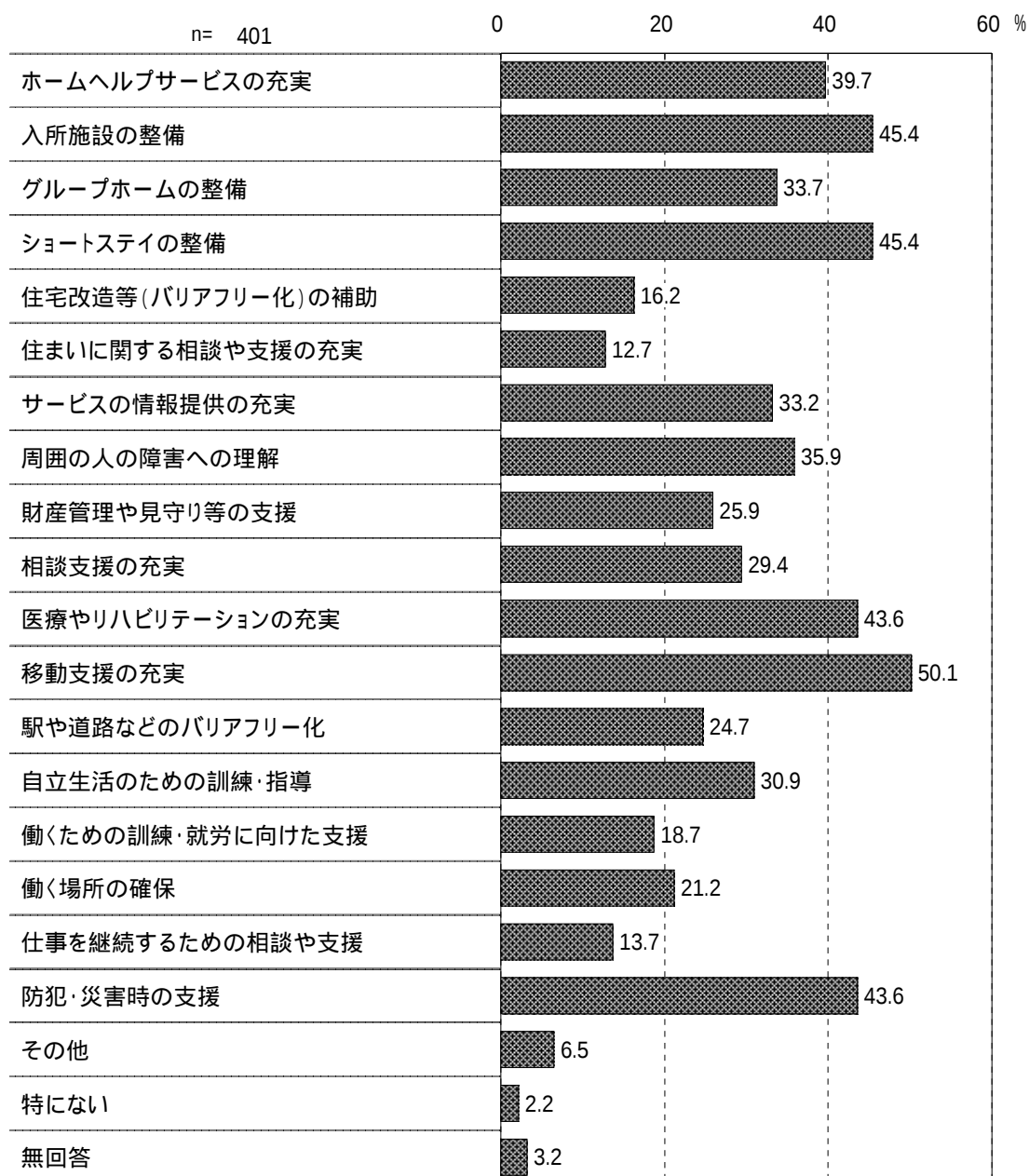
主な介助者が、介助にあたってどのような不安や悩みを抱えているかについては、「自分の時間が持てない(余暇・外出・休養等)」が最も多く 55.1%、次いで「精神的な負担が大きい」が 52.6%、「身体的な負担が大きい」が 47.4%、「何かあったときに介助を頼める人(場所)がない」が 41.9%などとなっています。



《問 13 のア . 主な介助者で「 1 」～「 7 」とお答えの方におたずねします》

問 13- 6 主な介助者の方は、あて名のご本人が希望する暮らしを実現するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

主な介助者が、本人が希望する暮らしを実現するために、どのようなことが必要だと思っているかについては、「移動支援の充実」が最も多く 50.1%、次いで「入所施設の整備」と「ショートステイの整備」がともに 45.4%、「医療やリハビリテーションの充実」と「防犯・災害時の支援」がともに 43.6%などとなっています。



【障害種別】

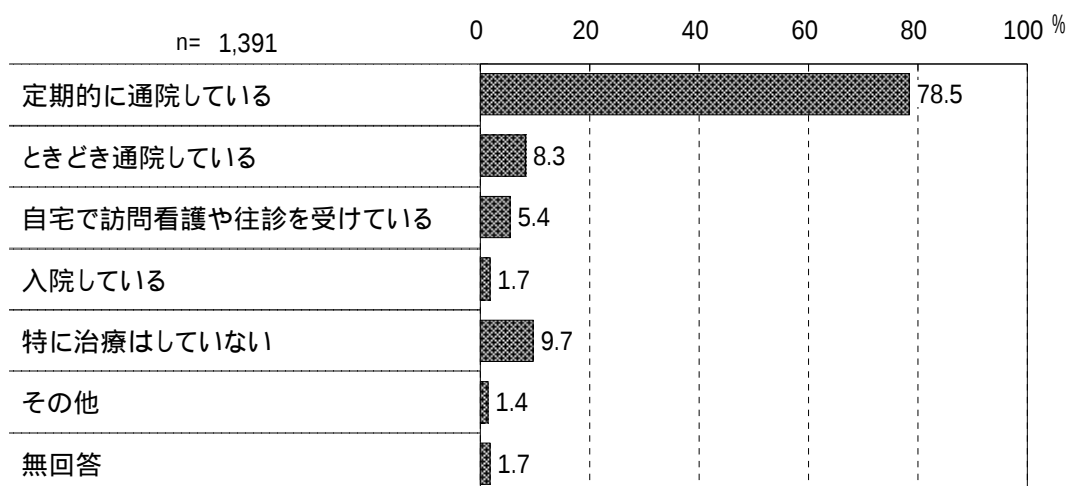
障害種別にみると、「移動支援の充実」では、「発達障害」と「知的障害」で6割前後と他の障害と比べて割合が高くなっています。また、「入所施設の整備」でも「発達障害」と「知的障害」で6割近くと他の障害と比べて割合が高くなっています。「ショートステイの整備」では「音声・言語・そしゃく機能障害」で7割近く、「医療やリハビリテーションの充実」では「精神障害」と「音声・言語・そしゃく機能障害」で6割以上となっています。

																						(%)
	n	ホームヘルプサービスの充実	入所施設の整備	グループホームの整備	ショートステイの整備	住宅改造等（バリアフリー化）の補助	住まいに関する相談や支援の充実	サービスの情報提供の充実	周囲の人の障害への理解	財産管理や見守り等の支援	相談支援の充実	医療やリハビリテーションの充実	移動支援の充実	駅や道路などのバリアフリー化	自立生活のための訓練・指導	働くための訓練・就労に向けた支援	働く場所の確保	仕事を継続するための相談や支援	防犯・災害時の支援	その他	特になし	無回答
視覚障害	30	30.0	40.0	16.7	43.3	23.3	10.0	40.0	30.0	16.7	16.7	50.0	40.0	36.7	23.3	13.3	16.7	6.7	40.0	13.3	-	6.7
聴覚・平衡機能障害	37	32.4	35.1	18.9	45.9	8.1	10.8	37.8	35.1	10.8	13.5	51.4	51.4	24.3	27.0	13.5	13.5	10.8	37.8	8.1	5.4	2.7
音声・言語・そしゃく機能障害	30	46.7	46.7	33.3	66.7	23.3	16.7	40.0	46.7	23.3	33.3	60.0	53.3	46.7	40.0	13.3	16.7	10.0	56.7	10.0	-	-
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・移動機能障害等）	177	46.3	40.1	18.1	50.3	27.7	16.9	35.6	26.6	16.9	23.2	56.5	48.0	37.3	23.7	11.9	13.6	6.8	45.2	8.5	2.3	4.5
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう・直腸、小腸、免疫臓機能等）	59	25.4	28.8	18.6	35.6	16.9	6.8	33.9	22.0	13.6	27.1	47.5	45.8	25.4	18.6	11.9	15.3	10.2	44.1	6.8	6.8	1.7
知的障害	232	41.8	59.9	49.1	56.5	13.8	12.5	37.9	44.8	37.1	33.6	41.4	59.9	18.5	36.6	22.4	26.3	17.7	50.4	7.8	0.9	0.9
発達障害	77	37.7	58.4	49.4	57.1	13.0	14.3	35.1	55.8	42.9	29.9	41.6	61.0	10.4	49.4	32.5	39.0	27.3	51.9	9.1	1.3	-
精神障害	26	50.0	50.0	26.9	53.8	19.2	23.1	38.5	42.3	26.9	46.2	61.5	38.5	26.9	30.8	11.5	15.4	15.4	50.0	11.5	-	3.8
高次脳機能障害	16	31.3	37.5	25.0	37.5	-	12.5	18.8	12.5	25.0	25.0	37.5	18.8	18.8	56.3	37.5	25.0	25.0	37.5	6.3	12.5	12.5
難病（特定疾病）	45	26.7	26.7	24.4	44.4	15.6	13.3	33.3	20.0	17.8	26.7	40.0	33.3	31.1	28.9	17.8	13.3	17.8	46.7	4.4	8.9	6.7
その他	11	45.5	45.5	27.3	54.5	27.3	36.4	36.4	27.3	27.3	36.4	36.4	54.5	27.3	36.4	36.4	27.3	27.3	36.4	-	-	9.1

4．医療と健康について

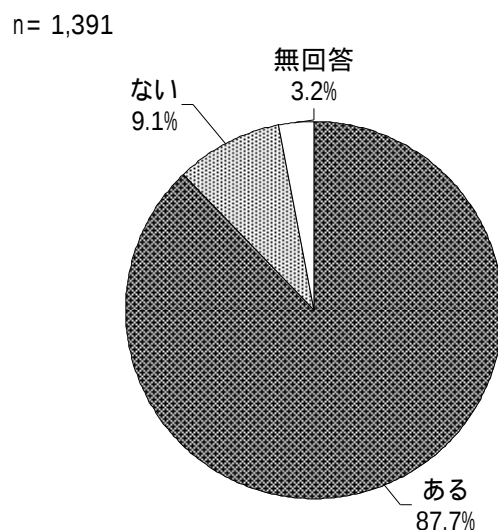
問 14 あなたは、現在、医師の治療を受けていますか。（あてはまるものすべてに○）

現在、医師の治療を受けているかについては、「定期的に通院している」が最も多く 78.5% などとなっています。また、「特に治療はしていない」が 9.7% となっています。



問 15 あなたには、継続的に治療を受けたり、健康や障害等について相談できる「かかりつけ医療機関」がありますか。（1つに○）

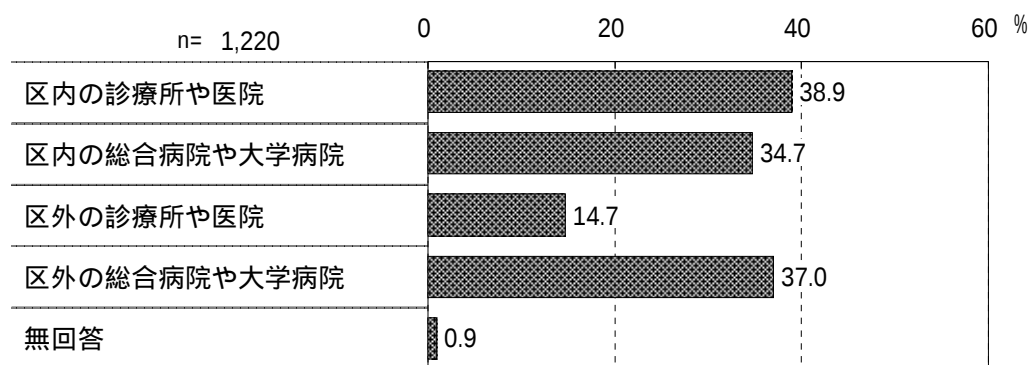
かかりつけ医療機関があるかについては、「ある」が 87.7% と大部分を占め、「ない」は 9.1% となっています。



《問 15 で「 1 . ある」とお答えの方におたずねします》

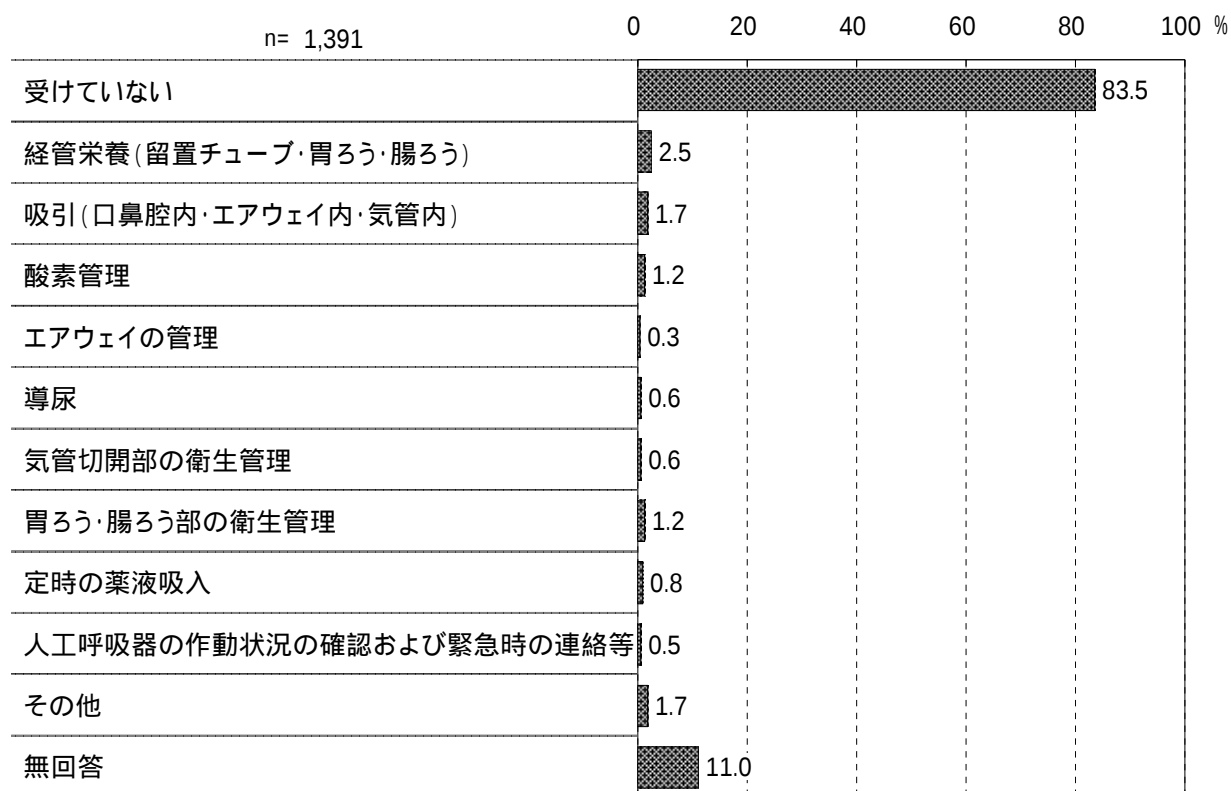
問 15- 1 どのような医療機関ですか。(あてはまるものすべてに○をし、受診科をご記入ください)

かかりつけ医療機関については、「区内の診療所や医院」が最も多く 38.9%、次いで「区外の総合病院や大学病院」が 37.0%、「区内の総合病院や大学病院」が 34.7%、「区外の診療所や医院」が 14.7%となっています。



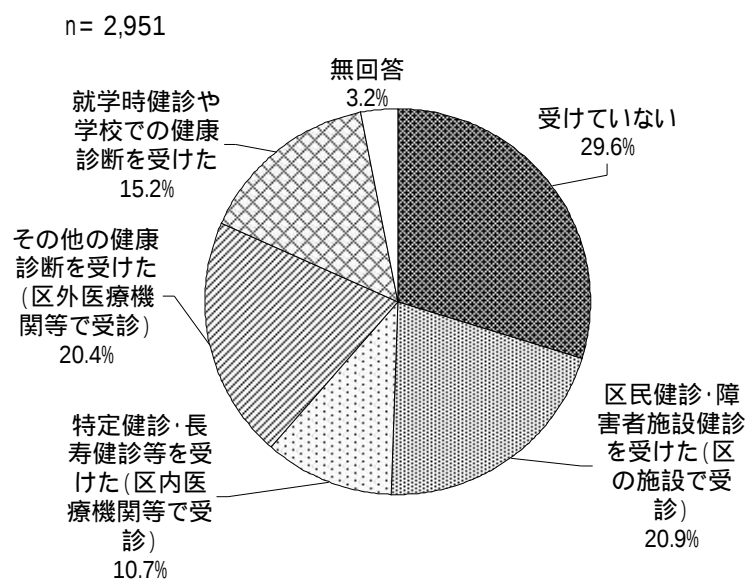
問 16 あなたは、在宅における医療的な支援を受けていますか。(あてはまるものすべてに○)

在宅における医療的な支援を受けているかについては、「受けていない」が 83.5%となっています。



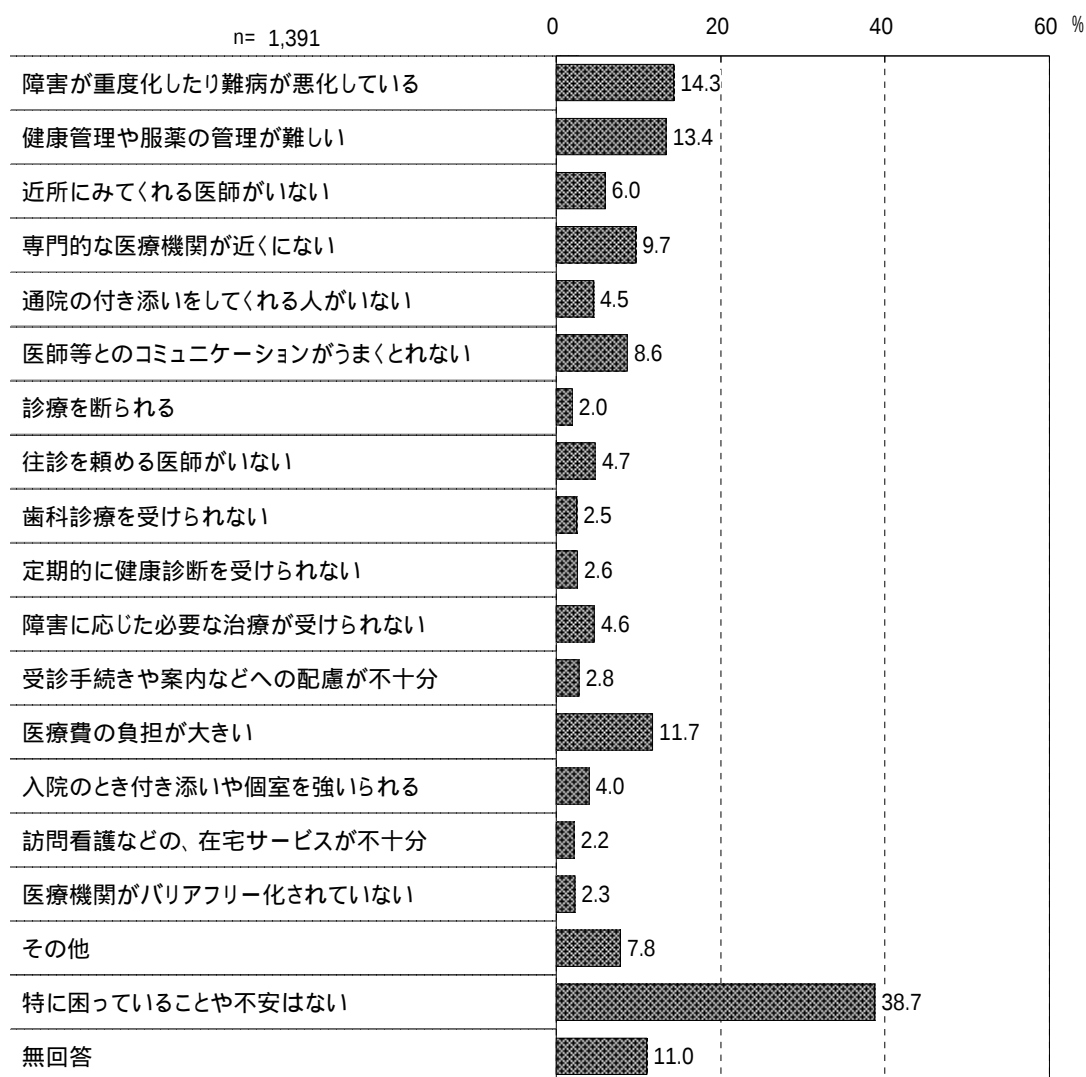
問 17 あなたは、過去 1 年間に健康診断を受けましたか。(1 つに ○)

過去 1 年間に健康診断を受けたかについては、「区民健診・障害者施設健診を受けた(区の施設で受診)」が 20.9%、「特定健診・長寿健診等を受けた(区内医療機関等で受診)」が 10.7%、「その他の健康診断を受けた(区外医療機関等で受診)」が 20.4%、「就学時健診や学校での健康診断を受けた」が 15.2%となっています。また、「受けていない」が 29.6%となっています。



問 18 あなたは、自分の健康や医療などについて困っていることや、不安を感じることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

自分の健康や医療などについて困っていることや、不安を感じることについては、「障害が重度化したり難病が悪化している」が 14.3%、「健康管理や服薬の管理が難しい」が 13.4%、「医療費の負担が大きい」が 11.7%などとなっています。また、「特に困っていることや不安はない」が 38.7%となっています。



【年齢区分別】

年齢区分別にみると、「障害が重度化したり難病が悪化している」では、“65～74歳”で2割近くと他の年齢区分と比べて割合が高くなっています。「専門的な医療機関がない」と「医師等とのコミュニケーションがうまくとれない」では6歳以上で年齢区分が高くなりにつれて割合が低くなる傾向にあります。また、「特に困っていることはない」では“40～64歳”で4割を超え他の年齢区分と比べて割合が高くなっています。

																				(%)
	n	障害が重度化したり難病が悪化している	健康管理や服薬の管理が難しい	近所にみてる医師がいない	専門的な医療機関が近くにない	通院の付き添いをしてくれる人がいない	医師等とのコミュニケーションがうまくとれない	診療を断られる	往診を頼める医師がいない	歯科診療を受けられない	定期的に健康診断を受けられない	障害に応じた必要な治療が受けられない	受診手続きや案内などへの配慮が不十分	医療費の負担が大きい	入院のとき付き添いや個室を強いられる	訪問看護などの、在宅サービスが不十分	医療機関がバリアフリー化されていない	その他	特に困っていることや不安はない	無回答
0～5歳	40	15.0	2.5	2.5	10.0	7.5	12.5	-	5.0	7.5	-	7.5	2.5	5.0	2.5	10.0	2.5	22.5	37.5	5.0
6～17歳	197	10.2	16.2	9.6	18.3	6.6	15.2	5.1	7.6	3.6	1.5	7.1	5.1	8.1	7.6	2.0	4.6	7.6	35.5	9.1
18～39歳	326	12.3	18.1	9.8	12.0	4.6	12.6	2.1	3.4	1.5	4.6	5.5	2.5	12.0	5.2	2.8	1.8	8.3	35.0	5.8
40～64歳	444	15.1	13.5	4.1	7.4	3.6	6.3	2.0	2.9	2.3	2.9	4.5	2.7	13.3	3.6	1.6	1.4	8.8	43.9	10.4
65～74歳	175	19.4	8.0	3.4	4.6	2.3	5.1	-	4.6	1.1	0.6	2.9	2.9	11.4	1.1	0.6	2.9	6.3	38.9	14.9
75歳以上	188	15.4	10.1	3.2	7.4	5.3	3.7	1.1	8.5	4.3	2.1	1.6	1.6	12.8	2.1	2.7	2.7	3.2	35.6	20.7

【障害種別】

障害種別にみると、「障害が重度化したり難病が悪化している」では、“視覚障害”でほぼ3割、“難病（特定疾病）”と“音声・言語・そしゃく機能障害”で2割半ばと他の障害と比べて割合が高くなっています。「健康管理や服薬の管理が難しい」では、“精神障害”“高次脳機能障害”“知的障害”で2割前後と他の障害と比べて割合が高くなっています。「医療費の負担が大きい」では“高次脳機能障害”で2割を超え他の障害と比べて割合が高くなっています。

(%)																				
																				無回答
	n	障害が重度化したり難病が悪化している	健康管理や服薬の管理が難しい	近所にみてくれる医師がいない	専門的な医療機関が近くにない	通院の付き添いをしてくれる人がいない	医師等とのコミュニケーションがうまくとれない	診療を断られる	往診を頼める医師がいない	歯科診療を受けられない	定期的に健康診断を受けられない	障害に応じた必要な治療が受けられない	受診手続きや案内などへの配慮が不十分	医療費の負担が大きい	入院のとき付き添いや個室を強いられる	訪問看護などの、在宅サービスが不十分	医療機関がバリアフリー化されていない	その他	特に困っていることや不安はない	
視覚障害	71	29.6	16.9	9.9	8.5	9.9	7.0	2.8	8.5	5.6	2.8	5.6	2.8	11.3	4.2	4.2	5.6	8.5	28.2	11.3
聴覚・平衡機能障害	75	10.7	5.3	2.7	6.7	6.7	13.3	1.3	1.3	1.3	2.7	5.3	2.7	10.7	2.7	-	1.3	9.3	33.3	16.0
音声・言語・そしゃく機能障害	49	24.5	10.2	16.3	16.3	4.1	14.3	4.1	12.2	8.2	2.0	12.2	10.2	14.3	8.2	8.2	10.2	10.2	36.7	6.1
肢体不自由(上肢・下肢・体幹・移動機能障害等)	337	19.9	10.4	8.0	11.0	5.3	5.9	2.1	6.2	3.9	2.7	5.6	3.9	13.9	5.9	5.9	6.5	8.3	34.4	12.5
内部障害(心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう・直腸、小腸、免疫肝臓機能等)	179	12.3	13.4	5.6	10.6	2.2	8.9	2.2	7.8	3.4	1.7	3.4	2.2	11.2	4.5	2.2	1.7	8.4	39.1	10.1
知的障害	435	10.1	18.2	9.2	13.8	6.7	17.0	3.2	6.9	4.1	2.8	8.5	3.7	6.7	8.3	2.8	3.2	6.0	33.1	10.6
発達障害	146	8.2	13.7	9.6	16.4	9.6	13.7	3.4	4.1	6.2	1.4	10.3	4.8	9.6	8.9	2.1	4.1	7.5	41.8	6.2
精神障害	223	11.2	21.1	6.3	6.7	4.9	10.8	2.2	4.5	1.3	4.0	4.5	3.1	16.1	4.0	3.1	2.7	6.7	43.5	9.4
高次脳機能障害	26	19.2	19.2	3.8	19.2	3.8	11.5	3.8	7.7	11.5	7.7	19.2	7.7	23.1	3.8	7.7	11.5	19.2	30.8	15.4
難病(特定疾病)	340	24.7	12.9	5.9	9.4	2.9	3.2	2.6	2.1	2.1	2.6	3.2	2.9	15.3	2.6	1.5	1.8	9.4	38.8	7.6
その他	33	21.2	6.1	-	9.1	-	12.1	-	3.0	-	-	6.1	6.1	12.1	-	3.0	-	15.2	30.3	24.2